京城日報

十八日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵送前金）一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲塲所指定一行金拾錢增 ▲三號活字は二號活字同樣 ▲六號活字は五號活字同樣の引

發行兼編輯人 奧田義 印刷人 谷口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話番號 編輯用三四五番 營業用三二六番 一二一四番 一六〇〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎日本を顧慮する遑無し

支那軍事顧問ニウレテ氏の漏せる所に依れば即位は愈々二月九日と內定せるが如く一切其の積りにて準備し居れり而して日本の承認如何は此の際顧慮する遑なし殊に獨墺米伊西諸國は直ちに承認し英露佛伊の承認あらば日本獨り不承認といふ譯に行くまじと觀察し居れり（北京特電）

◎特使延期と支那大官

某支那大官曰く外國人は特使延期の件を日支間の感情を破る重大事の如く觀察するも此の報告を得たる袁總統は今回の特使は全然政治上の意味なく單に即位祝賀の大使なれば延期するも何等の事なしと語り居り又た政府當局も普通の事とし居れり（北京特電）

◎獨帝病氣漸く回復す

アムステルダム來電に曰く伯林の半官的報道に依れば獨帝は病氣重かりしも漸次回復し十五日宰相官邸に自動車を驅り同所にて食事をなし數時間滯在せるが途中群衆の喝采を受けたり（紐育電報）

◎露太公御動靜

露太公殿下には十八日陸軍の各部を巡覽あらせられたり太公は來る二十日御別れの爲め參內翌二十一日退京御歸國に向はせらるべし（東京電報）

◎露國藏劵引受

我國に於て露國大藏省劵を五千萬圓丈引受くる事に決定したりと（東京電報）

◎委員南阿派遣

政府及び日本郵船會社より南阿迂廻航路問題に付特別委員を南阿に派遣する事に決したり（東京電報）

◎上院形勢險惡

十八日貴族院は豫算委員會を開く形勢險惡なり（東京電報）

◎海軍參政後任

早速氏の後任たる海軍省參政官は中正會の岡部次郎氏に決定せりと傳へらる（東京電報）

◎首相遭擊者捕はる

大隈首相を遭擊したる犯人は逮捕せられたりと（東京電報）

雜報

◎新帝國の新公爵

政事堂消息に依れば新皇帝の登極と同時に左の三氏頭書の公爵を授けらるべし（北京）

輔國公 現國務卿 陸徵祥
佐國公 前陸軍總長 段祺瑞
濟國公 稅務處督辦 梁士詒

◎吉鐵と北京交涉

川上滿鐵理事は近く北京に赴くこととなり居ることは旣電の如くなるが右は主として吉長鐵道に關して支那交通部と協商するの使命を帶び居るもの丶如く尙ほ之を機會として川上理事は滿蒙に於ける諸般の經濟的活動に關し日支兩國が隔意なく相提攜して事に當るべく支那政府と滿鐵との意思疏通を圖るに努力する由にて其結果支那側との交涉機關として滿鐵交涉局の分局を北京に設置するに至るやも知れず是等は凡て川上氏親しく彼地に赴き各方面を視察したる上に決せらるべしと尙ほ又支那交通部參事陸、權兩氏の吉長鐵道檢閱は二十日頃迄に終るべく右兩氏歸燕復命の上兩氏は選ばれて滿鐵代表者と北京に於て吉長鐵道に關し協議する筈なれば從て川上理事の出發期も二十日より少しく後るゝに至るべしと（大連）

◎暖氣と渤海航路

大連汽船濟通丸は都督府命令航路となり天津線に從事せるが同地白河は過日來の寒風に全く結氷し航行危險なれば解氷期まで秦皇島止めとなし十一日第一次船として大連を出帆し十五日午前十一時歸港せり歸來船員の語る所に依れば本年は意外の暖氣にて一旦結氷せる氷塊も漸次融解する有樣なり現に本船の秦皇島に航行當時は港內一圓の氷原と化し其厚さ三四吋あり棧橋際留の際少しく困難せしも出帆日には餘程緩み當分斯る天氣繼續せんには白河の氷塊も次第に浮流するに至るべしと尙ほ天津港務局告示を以て發表せる結氷信號は航海者の爲め頗る有益なるのみならず安全なる航海をなし得べし（大連）

◎鑛業令施行期

朝鮮鑛業令は四月一日より施行の豫定なるが之れに伴ふ朝鮮鑛業令施行規則は旣に參事官室の審議を了へ、又朝鮮鑛業登錄規則は目下審議中なるも今後一週間以內に終了す可きを以て總督の決裁を經次第直ちに發布す可く、其期日は今月末若くば二月早々なるべし尙ほ鑛業警察規則も完成したれば機を見て發布す可しと

◎政務總監挨拶

山縣政務總監は新年の御挨拶に令兒逝去に對する御見舞御禮を兼ね、池邊秘書官、藤波通譯官等を隨へ十八日午後二時より昌德、德壽の兩宮をはじめ李埈公、李堈公邸を訪問し、歸途英露兩領事館、李完用伯及び趙重應子邸を訪へり

◎特使隨員一行

周道日大使の先發として入京中なる吳鼎昌氏等五名の隨員は十七日午後五時より支那總領事富士英氏の招待にて支那總領事館の晩餐會に臨みたるが華商總會々頭張時英、副會頭鄭以初の二氏も亦列席せり、而して一行の進退に就きては未だ其筋よりの訓電に接せず朝鮮ホテルに宿泊中也

◎遣露軍人通過

軍事上の用務を帶び露國へ派遣中なりし古賀砲兵□佐以下將校六名下士以下十五名は歸朝の途次八時三十分南大門著列車にて通過大阪に向へり

◎定例長官會議

十八日は定例長官會議當日なるを以て山縣政務總監以下各部長官局長立花警務總長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に付き打合せの上正午散會したり

◎商議定期總會

五年度豫算の附議

京城商業會議所にては豫算變更に就て十七日午後一時より役員會を開きたるが先づ之に決定したる大正五年度豫算案の賦課率が其筋の注意もありたるにより根本的に變更するに至れる旨大村書記長より報告し既報の如く府營業稅に對する百分の三十二を賦課することに決定したり即ち

▲經費賦課徵集法は今期會議所の調査にかゝる現在會員數は五百八十六名（內地人四百四十名、朝鮮人四十六名）にして此會員の京城府に納む可き營業稅の年總額は五萬二千四百十八圓卅一錢（內地人四萬三千九百八十圓八十二錢朝鮮人八千六十七圓卅九錢）なり之れに對する百分の三十二を課金として徵集するとせば一萬六千六百五十四圓八十八錢（內地人一萬四千七十四圓二十七錢朝鮮人二千五百八十圓六十一錢）を得ることゝなる次第なり而して

▲會議所の豫算は一萬七千餘圓にして變更前と後とに於いては僅かに百餘圓の增加を見たるに過ぎず其の豫算面に於いても調査費の如き會議所本來の事業たる經費の支出に重きを置きたるは從來と大に面目を異にしたる點なり尙ほ大正四年度の豫算に於ては會頭に十五圓副會頭に五圓の交際費又は年當を給すとありたれども京城は內地の三府又は五縣と比肩する程の地位を有し殆んど朝鮮を代表して立つ可き場合多ければ右の如き少額の交際費又は手當にては單に過少と云はず第一外部に對する會議所の面目を維持し得されはとて豫算案には會頭には交際費として五十圓會計を司る副會頭には手當として十五圓を各月額として給與することに計上したりこれを內地の三府又は五縣の會議所が會頭の交際費を千圓又は二千圓と定め居れるに比較すれば殆んど半額に過ぎず

▲評議員總會 右の豫算案は會議所手數料及び使用料規則、鑑賞代金月末決濟等二件と共に十八日午後二時より總會を開會して附議せり

◎檢米成績と在庫米

仁川米穀檢查部に於ける一月一日より十五日に至る檢查成績を聞くに廻著皆無輸移出米穀檢查數量一萬一千三百九十叺にして內合格優等六百十四叺上格一千五百二十三叺下格八千八百五十一叺計一萬九百八十八叺內不合格四百二叺なり尙十五日現在の在庫穀物數量は玄米七萬四千七百十四叺白米七千十四叺大豆六萬三百五十一叺小豆六百四十三叺小麥五千二十一叺荏子三百五十七叺籾八千五百二十俵粉米九百九十八叺粟二百七十五叺胡麻八十八叺蕎麥八十叺糯米一千九百十一叺合計十六萬二百三十一叺なり

◎大阪より

▲鋼鐵相場思惑

鋼鐵材は造船若くば軍需品製造に要する特殊なるものに限りて材料頗る拂底の有樣なるが普通鋼鐵類は昨年の大暴騰の反動にて却つて小頓座を來し幾分安合の狀態なり斯くの如きは時節柄有り得べからざる現象にして思惑筋が安値に買ひて更に高値に放さんとする策略なるべしと觀察する向あれば實際當日の在荷豐富にして當分大暴騰を演ずるが如き事なかるべしと

▲金融頗る緩漫

金融市場は引續き閑散の狀態にして日銀支店に於ては昨冬流出したる決濟資金の如き既に殆んど全部の回收を告げ氣配至極軟弱なり從つて金利は依然驟合の成行にしてコールは無條件六厘乃至七八厘見當にて小口取引所は商業手形割引日步は一流紡績も九厘普通一錢二三厘を唱へ居れり月末に迫らば舊節季の關係より多少の活況を見るならんも先づ其れ迄は格別の變化なからんと因に十五日日銀支店帳尻は貸出四百七十一萬二千圓預金八百六十一萬二千圓なり

▲煉瓦減産撤廢か

大阪窯業、日本、堺岸和田、津守、丹治六煉瓦の生産三割減額期限は十五日を以て滿了と共に其繼否如何は更に右同業聯合會の協定を要すべき規定の由なるを以て頃來之に對して準備を重ねし模樣なるが近來一般工場界の進展に伴ひ一時は悲境を極めし斯界も多少回復の緒に就きしと共に在來の堆積品は殆んど一掃され而かも今や需要の增加を招きつゝある折柄とて現に二回迄も製品の値上を實行したる狀況なるを以て自今製産減額の必要を見ずとの說に歸著せし由

▲糖業聯合會決議

十四日夜に至り過般來紛擾を釀し居たる日糖明治兩製糖會社をして粗糖を購求せしむべき協議は日糖を聯合會に從前通り加入し三十七萬擔を限り十一圓見當にて日糖明治兩社に購求せしむべき事に決定したりと（支局發）

人事消息

▲平山三等主計正（第九師團經理部）十七日午前內地より歸任
▲加藤定吉氏（靜岡縣代議士）十七日午後釜山發高麗丸にて東上
▲川崎克氏（三重縣代議士）同上
▲石原政治氏（旅順工學堂長）同上
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵會社創立委員）同上
▲興永一等主計正（新任釜山運輸部附）十七日內地より赴任
▲久芳直介氏（人事課長）母堂逝去の爲め郷里山口に歸省中の所十八日夜歸任せり
▲野口次郎三氏（庶務課技師）此程慶尙南北道に出張
▲入江海平氏（理財課長）光州農工銀行總會に出席の爲め十九日朝同地に向ふ
▲田中市務官（第二課詰）此程歸任

南言北語

支那の特使派遣延期は十六日に日置公使から支那政府に通告する筈であつたのに同日の午前に曹外交次長が日置公使を訪問して▲支那は種々の事情や大隈伯の狙擊事件などに鑑みて今回の特使は中止するから宜敷と云つて來たさうな▲而して見ると斷はつたやら斷はられたやら判らぬが支那の外交は萬事之れだから油斷が出來ぬ▲ナアに特使は政治上の意味は何もない唯大典祝賀の爲めだ延期したつて兩國間の感情の衝突などはないよと袁總統の濟した處は大出來▲だが鳥渡待ち給へ、顧問外人の氣焔を聞くと帝政承認は日本が頑張たつて駄目だ各國が承認したら日本も否應なしにまいつて仕舞だらう何あに日本の不承認は恐るゝに足らぬと云つて居る▲眞面目か不眞面目か出來るものならやつて見るが宜いそれこそ飛んだ引き倒しでやりそこなつたら本人は逃げ出せば夫れ丈けだが▲後に殘る連中が泣き出さねばなるまい斯う云ふ先生方が居るから北京政府が飛でもない人騷がせをやるのだらう▲雲南討伐軍の主力は四川に向つて進んで居る事は事實らしい▲雲南軍は重慶へ殺到せんとしつゝあるが要するに四川の奪取は南軍に取つては大問題である▲處が四川の形勢は大分雲南軍に傾いて居るから何とも云へぬ▲廣東では前廣東總督龍濟光が革命軍の首領となつて現はれたから徐々危險に瀕した譯だ▲元來雲南軍は海岸地方に一箇處も根據がないから兵器の輸入や同志の來投などに非常に不便である▲其處で何うしても廣東を占領せねば將來の活動が出來ぬ▲而して四川、廣東、廣西の背境は或る意味に於て北京政府の生死の境だ危ない〳〵▲重態の獨帝が最う自働車を乘り回して居る運の强い男だ▲歐洲の戰況も亦景氣付くのだらう

パゴダ名殘

昨夜大塊庵にてパゴダ名殘りの小集ありたりと申せば殊更に集りたる樣なれど何れはパゴダ名殘の忘れかねたる靜軒虎耳なんどの好き者が足の向くまゝ氣の向くまゝにヤア君も來たのかといふがこの小集の由來因緣。（十八日）

□雪の夜や大玄關に鳴らす呼鈴 靜軒
□道開へばヨボ長煙管雪深し 河水
□峰吹雪野鶴翔けるを橋に見る 虎耳
□南山や雪金剛も雪長白も 大塊
□古里の夫れを思はず高麗の雪 飛梅

賣却廣告

一京城壽町四番地
　宅地四百七拾坪
　右地上ニ建設
一木造洋風瓦葺二階建本家壹棟
　建坪四拾壹坪參合
一附屬木造瓦葺平家壹棟
　建坪拾武坪六勺
一木造瓦葺平家壹棟
　建坪參拾武坪貳合五勺

右賣却候ニ付御希望ノ方ハ來ル二十五日迄ニ本町一丁目京城商業會議所內元京城日本人商業會議所清算事務所ヘ御來談アリタシ

大正五年一月十八日
元京城日本人商業會議所 清算人

防寒靴

絨表フエルト裏止 金一圓四十錢
皮底パテント上ゲ 金一圓四十錢
同 ミ ア 皮八卷上付 金一圓五十錢
アミアゲ改造皮靴各種スリッパー
廉價販賣
製造販賣 京城本町二 日東商會

電話番號變更

北長 二四八番 二四九番 二五〇番 二五一番

弊店電話番號は來る一月廿三日より右之通變更致候

大阪堂島米穀取引所仲買人 ㊣橋本猶作商店

良職業あり

高尙にして有利の事業也 返信料三錢を添至急申込まれ度に採用し規定書を送る

東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 帝國法律普及會

今般都合に依り寫眞材料部を佐野三六氏へ一切關係の權利義務現在其儘にて讓渡し候間何卒倍舊の御愛顧に預り度願上候
追て永年該部に賜り候御厚誼に對し御厚禮申上候
株式會社 光明洋行

前記の通り拙者に於て引受け一層勉强仕候間御引立の程願上候
寫眞材料商 佐野洋行 佐野三六

大正五年 國民日記

定價四十五錢 郵稅金八錢

四六判 總クロース裝幀優美 五百餘頁 紙質精良 製本堅牢

其の優美なる體裁は世界に卓絕せる我日本の自然の如く其の堅牢なる製本は天下無敵の大和魂の如く而して完全充實せる其の內容に至りては恰も世界の文化を融合せる我日本文明の如く古今東西の知識を網羅して餘蘊なし是れ實に我が「國民日記」の國民日記たる所以也

更に其の編纂上特別努力したる主要なる特長の二三を列擧すれば一、毎月の初め、廣業、淸方、百穗、輝方其の他現代十二畵伯の筆に成れる優麗なる繪畵を挿入す一、毎日記事欄の下部一段に、古今の重要事項、格言、料理法、和歌、俳句、漢詩等を記載す一、卷末附錄には、冠婚葬祭儀式禮法、救急療法、法規、統計各種便覽、俳句歲事記等を滿載す一、裝幀頗る優美にして、而も製本最も堅實なり

即ち「國民日記」は國民の爲に作られたる國民の日記にて紳士も學生も婦人も苟も國民たらんものは何人も之を用ひて將に來らんとする大正五年を最も有効に活動し得る最新式の理想的日記也

大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

巖谷小波先生監修

▼今年入學する幼年諸君へお祝の品物 千名進呈（詳細本誌）

幼年畫報

お待兼の一月號 定價各金十錢 郵稅一錢 東京本町 博文館

▼尋常小學程度の讀易く面白い雜誌

幼年世界

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害

醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

銃猟閑話 獐物語

○獐を捕るなら今です。皮の毛も今が一番厚い時で、肉の味も今が一番良い時、それに猟場は冬枯れで見通しがきくから、誂へ向です

○京城から一番近い猟場は、揚州坡州の山の中、少し遠くなると京元線の東豆川から扁溪あたりにかけて、乃至は黄海道瑞興あたりから山奥へ入れば、三頭や五頭の群に會うのはわけはありません。

○獐は、十中の八九は必ず群をなしてゐますから、十二番の二連銃の散彈で甘く行けば、同時に三頭位斃せます。先づ猛獣撃ちの手慣らしには獐狩りから初めたら、別に怪我もなくそれに獣に對する呼吸もわかりますから、手頃だらうと思ひます。

○獐は山間の草叢とか灌木の叢生地の日陰を選んで棲み、一日に二三時間、乃ち午前の十一時頃から午後の二時頃までの間、日當りのいゝところに來て寢てゐます。

○而して、夜になると草を喰べに畑を獵つて歩き、特に麥の芽を好んで食べますだから、獐が出没すると其邊の畑は散々に荒されるので農夫は狩猟家が獐退治に來るのを寧ろ悦んで歓迎してゐます。

○獐を狩るには、これ等の農夫を勢子に使つて、山を麓から峰へと狩り登らせ、峰に登りつめたところを撃つのが、勢子にも怪我をさせずに安全な方法かと思ひます。

○内地ならば、先づ牝鹿を逐ふやうなもので、彼の軽快な獣が飛ぶやうに走るのを斃す愉快は、畳の上に居る人には迚ても解りません。走つてる獐を撃つには鼻か前肢の肩關節を狙ひます。これは他の獣類を撃つのと同じ要領です。

○獐の肉は、輕くて柔かくて、先づ一寸比類のないものです特に素燒にして醤油に漬めて喰べるのは特別な味です、血は朝鮮人の兩班などが根の妙藥と唱へて、麥酒瓶に一本十圓位したこともありましたが、今でも一圓八九十錢はするでせう、革は一寸鹿に似て、胴衣にしたり、外套の裏に附けたりします。

朝鮮人の力瘤

支那の時局に關し流言に誘はれて憲兵補助員及び巡査補の志願者千人を越ゆ

平安南道警務部では本月三十一日に憲兵補助員及び巡査補を募集する旨を新聞紙上に發表した處意外にも例年採用數の三倍を超えた事のない應募者が本年は六倍乃至七倍に達し尚期限迄には續々志願者が増す見込である當局者は

▲此の奇異な現象に對し非常に不審を抱いて鮮人の經濟状態や民情の調査などを開始せんとした程であつたが然し本年は例年にない景氣で勞働者を始め一般の商工業者も引續き相當の收益を擧げ居る爲め景氣挽回の聲こそ聞け就職難のある可き筈がない不思議だ不思議だと更に深く調査をするとは如何に千に餘る憲兵補助員及び巡査補志願者の大部分は過般雲南方面に討袁軍が蜂起して各省之れに應じて袁の帝政を覆さんとする爲め日本は支那政府の請を容れて滿洲一帯に憲兵及び巡査を派遣して革命軍を討滅すべしと一犬虚を傳ふれば萬犬實を傳ふの諺通り

▲荒唐無稽の謠言がパッと擴がつて李氏も金氏も張氏もと言つた風に此の千載一遇の好機を逸せず滿洲に乘り込んで一功名せばやと逸り立つた結果斯くは競うて志願したのであるだが昨今漸く當局者の懇々たる注意に依つて流言であつた事が解り一部の者は折角の力瘤の遣り場に困つて居るとか然し一方警務部及び警察では應募者が異常な數に達した結果學術試験や體格檢査で思ふがまゝの者を採用する事が出來るし此際補助員巡査補の人格の向上を計るには絶好機會だと非常に慶んで居る

二百餘名の警官一齊に出動!

夜襲!檢擧!鍾路署管内浮浪者狩り

京城鍾路署管内は主として朝鮮人市街にて近年商工業の發展と共に繁昌しつゝあるが昔ながらの浮浪者徘徊するより之を掃蕩することに努めつゝある松井同署長は時節柄年末に際し一般良民の間に潜入して擾へ或は小泥棒を働く青少年、宿屋を食ひ荒して廻る無職者、賭博犯人、乞食體の小窃盗者及び浮浪者等を一掃するの必要を認めたるより十七日午後一時より當非番巡査約二百餘名を東部中央西部の三隊に分ちて内地人警部各隊の指揮官に任じ松井署長總指揮の下に一齊に活動を開始し平素より注視を怠らぬ前記の如き徒輩の巣窟に不意の襲撃をなし午後七時一先本署に引揚げて休憩し更に午後十時より翌十八日午前四時迄活動を續行し酒幕、内地人飲食店、乞食の巣窟等殘る隈なく嚴密な捜査臨檢をなし霜に冷き暗夜の市中を網の目にかゝりたる不逞の輩は續々本署に押送し本署取調係は徹宵其取調べに從事し留置すべきは留置し嚴戒の上放還すべきは放還したるが警務部よりは限部警務部長自ら出張して午後十時より現場に於て其活動の實況を視察し取調べより留置場に至る迄親しく巡視をなし約二時間の後歸廳したり因に日夜の大活動に依り檢擧したる人員左の如し

▲浮浪者五十五名▲窃盗六名▲賭博二十四名▲同嫌疑者二名▲阿片吸食者二名▲密淫賣二名▲合計九十一名尚別に商店の視察四十三名▲宿屋下宿屋臨檢三百七十五戸▲不衛生者説諭四百三十六人▲泥醉者保護七人▲以上百六十八件▲戸締油斷注意十八戸▲火氣注意四十一戸▲

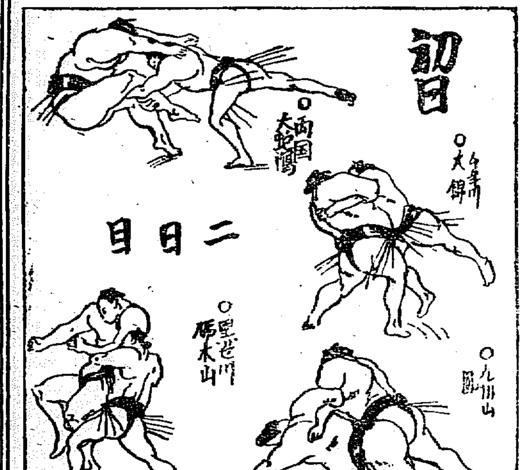
右の中取調べの結果一先放還したるもの浮浪者二十五名窃盗一名にて殘五十五名は留置處分となしたり同署にては尚引續き管内の安寧秩序を維持する爲め警戒を弛めざるを以て一般居住者は大に安堵して職業に從事することを得べく是れに引代へ平素より一定の職業もなき浮浪の徒輩は一大恐慌を來し漸次正業に從事することゝならん

馬賊我が火藥庫を覗ふ

去る七日の夜一時半頃鐵嶺歩兵聯隊の第三大隊營内に一名の支那人潜入し火藥庫に近寄らむとせしを哨兵に發見せられ直ちに捕縛の上衛戍取調べ中の所該賊は山東省牟當時吉林縣黒石頭住農李鐵見(二七)といふ者にて他四名の者と共謀し四名をして柵外に立番せしめ李一名哨兵の樣子を窺ひ居たるが直ちに發見され捕縛さるゝを見て四名は何れにか逃げ失せたり目下共犯者捜査中なるが賊は馬賊の徒にて他に何等の意味なきもの如しと(鐵嶺)

八幡製鐵所機關庫燒く

八幡製鐵所機關庫十七日夜失火燒失せり附近枝光も一時危險なりしも免れたり(門司特電)



大相撲取口評

△鳳に栃木山 四日目の好取組は無論鳳に栃木山であつた若人は蔵前巡業中は三番に一番は太刀山を喰つたと云ふ鳳にして今場所の不成績はどうしたものか横綱ともあらうものが固くなつたでは申譯けは立たぬ栃木が落して寄るを又も栃の小手投に行かんとして未だ其準備中に早くも敵に蹴られて又裏を採かれた一體栃の海門下の秀才は鳳の策戰を呑込んで誰れも彼も其積りでやつて來るのに一人鳳のみ同じ事を繰返へして居るとは彼の平生を知る記者は寧ろ不思議に堪へぬ矢張り固くなつたと云ふものか

△石山に釋迦嶽 取口は張手ならざるも釋迦は堅剛の好力士なり實力に於ては無論釋迦の者なるも敵の提手の如き石山は先づ突張つて右を當つるや出足早に押進み釋迦が苦しく紛れに首を捲いて捻りを見せ土俵を廻らんとする處を隙さず突き放した其の取口のキビ〳〵しさは流石に江戸兒なり

△千年川に綾川 共に故高砂の門に育ち千年は正に兄分なり然るに朝潮襲名問題にて東西に分かれて雌雄を競ふ又是非もなし綾は千年の出鼻を受けて一押しに押さんとする千年得意の捲落しを試みしに綾體を突き附けたればこゝに同體となり

△西の海に大鳴門 揶所前は不元氣と云はれし西の海は案外元氣なり立上り西の出鼻を鳴門引掛けて遂に二無二突立て西は土俵際に突立てられしも殘すと共に左四つとなるや鳴門なほも勝味となり外掛けに行かんとするを西漸く殘して反對に寄り進み居風倒しに寄倒しなるは西の勝となりし德にて鳴門は打遣りを見せて物言となりしも無論是は西のものされど鳴門又能く戰ひたりと云ふべし

此頃石炭物語

暖かさの影響

昔は朝鮮の氣候が一般市中の商業に影響した事は勘くない殊に冬季に其年の記録破りの暖氣には得意とする石炭商は

■醅い目に 逢つた、京城で消費される石炭は地理の關係上殆んど十中の七八分まで撫順炭が用ゐられて居るが今年は一般需要者にもかゝはらず石炭の消費額は例年に比し一箇月約百噸も減少したといふ是もこれは一軒の店にとつての賣上高を

■勘定した ものであるが是を市中一般の同業者に及ぼして見ると今年の暖氣が石炭商に影響した所はなか〳〵以て僅少でない、第一一般の暖爐温突用に買入れる家でも一度納めると忘れる程に貯へて居るから得意數の殖えた割に商賣は尠く又一般常得意たる風呂屋の如きも旭町の出湯あたりで一箇月

■十噸も違 といふから暖氣のお蔭は種々な方面に現はれる、然るに風呂屋は又中途半端な氣候が大禁物で餘り嚴寒でも困るが去りとて昨今のやうではお客が尠いといふ京城では内地の如く大きな製造工場が無いから

■年中不斷 の消費口は尠いけれ共冬期は一般お役所の暖爐用か第一の得意になられ、先づ總督府を始めとして各處の官衙は却々石炭屋のお得意であるが就中麻浦の煉瓦工場、總督府醫院、龍山の軍營などは消費額が何處よりも多い、又石炭の消費高を季節によりて分けると冬期一二三の

■三箇月が 最も多く盛夏七八九月が一番閑散な事は云ふまでも無いが夏と雖も石灰工場の需用などがあるから先づ兩期の比較は半分弱位のものであらう、今年は京城の市場に内地の九州炭が侵入して花々しい健闘を試みたやうだが京城では到底撫順炭の敵でないらしい

■撫順炭は小賣 噸十圓を唱へて居るが内地炭は噸八九圓、相場に於ては多少の差があるやうだが撫順は品質の一定したのを以て押し居る、然るに釜山及び仁川に行くと撫順の地位を轉倒して内地炭の威張り出す、現に元山に於ても今年の競爭は激烈であつたといふ

水仙花の季節

頃日京城市中の支那人商舗では何處でも暖かい硝子窓際に葉のびた水仙花を陳べて居る、水仙花は冬期支那人の愛翫する水仙で其の白い球根も青々しい葉も草木の枯れた寒中には共に得難からぬ懐かしさを覺える殊にあの香氣馥郁たる黄色の花……

弟の情

客年末京城新町遊廓消月樓に於て同家の抱娼妓若松事城子と同人の情夫なる大阪市西區生れの豊中楠之助とが自暴の短刀にて合意の情死を企てたるも未遂にて兩人共其後加療したる爲一命を取止めたるは既報の通りなるが豊中方に於ては幾分の餘裕もある家庭なるより楠之助の實弟楠太郎は兄の身の憫れを思ひ此程遙々渡鮮入京し樓主と相談の結果城子の前借金五百餘圓あるを結局三百圓に負けさせ茲に相談目出度整ひ内金を入金して落着させ兄の楠之助に配はしめる樣取計ひ事落著したりとは先づ目出たし

店頭の錢箱

兵庫縣川邊郡伊丹町生れ住所不定の久城延吉(四)は前科一犯の者なるが一月十四日午後七時半頃京城太平町二丁目古物商村龍順方店頭に人なきを見澄まし有合せたる錢箱(現金五六錢在中)を窃み逃走せしを家人に發見取押へられて本町署の手に引渡されたり

質屋組合總會

京城質屋組合にては二十日午後六時半より總會を開き終て新年宴會を催すべし

◎小杉氏送別會 前學務課屬小杉彦治氏の一般送別會は二十二日午後二時半より西大門俱樂部に開催、會費一圓にて官公私立學校職員、教育關係者等多數出席の筈なり、又送別會に出席せざる人々は記念品を贈ること、なり目下同志の募集中なるが費一人五十錢なれば希望者は至急學務課秋本屬宛申込まれたしと

◎兵庫縣人會 二十三日午後五時より精華亭に於て兵庫縣人會を開く由なるが會費二圓五十錢にて種々の餘興あり一般同縣人の出席を希望すと

◎仁川調理研究會 仁川調理研究會にては來廿五日正午十二時より『うろこ』に於て新年宴會を開催する由にて其々知名の士へ案内状を發せり

◎新婚 朝鮮銀行平壤支店預金部主任尾道密氏(三)は池田長次郎氏夫婦の媒介にて當地旭町一丁目中川浩平氏令嬢悦子(二)と十六日南山大神宮に於て結婚式を擧行し午後六時より京旅館にて親戚友人に披露を爲したり

春場所星取表(○勝●負×分)

初日	[illegible]
二日目	[illegible]
三日目	[illegible]
四日目	[illegible]

演藝

▲綾瀬州は十九日 十八日より有樂館に開演の筈なりし角力甚花節綾瀬州一行は聯絡船の延著により乘込み遅れ十八日著京せるため初日を一日延期し十九日より開演すべく一行は都合入名なり

▲壽座 十九日の替り狂言は伊賀越道中雙六大序より八つ目まで 切猿川忠兵衛封印切 主なる役割左の如し

▲御成座 大正俱樂部十九日の替り狂言は一番目大和魂姫糸網 二番目霧劇場 …

▲壽館 浪花節…

●三日五虹並び 完全に視えたるより人々各所に寄り集りて注視怠らざりしが太陽の光線……

●女房衣を（長春）仁川府新花水里百……

●憲兵の名刺を 住所下宿……知する處となり取調の上検事局へ……屋に同憲兵の使なりと稱し入質せんとする所を本町署の警官に發見され……洋服上衣一枚一圓五十錢を窃取し逃走せんとする所を家人に發見され追跡……

天氣 晴一時曇り 十一月十九日

▲最近の成功者かくの如し

成功致富の近道は何か

まづ株式相場をなすに限る 株の賣買は決して危險にあらず

『富強世界』社長 高柳淳之助

▲今の富豪も皆株にて金を儲く ▲相場に失敗者多きは何故ぞや ▲株とは如何なるものか ▲株式賣買の資金 ▲株は何人でも何地でも出來る ▲空論にあらず實際的なり ▲余の採算的相場觀 ▲株式相場講義録の發行 ▲株式相場の研究 ▲株の相場下らば如何するか ▲株を持つ利益此の如し ▲未亡人株の賣買を始む ▲株の賣買の利益此の如し ▲株の相場をなすとは如何

十日午前十時半より長春の東南方に……當……て二個の幻日五個の虹あり最も一埠地邊にて恐慌するもの尠なからず城內商……突に掛け……にて祭壇を設けて祈禱せるも

◎廣梁灣製鹽と山東省鹽

朝鮮に於ける食鹽の消費額は一箇年約二億五千萬斤乃至三億萬斤に達しつゝ有るが供給地は內地及び關東山東省等にして朝鮮內にては廣梁灣及び朱安等數箇所に產し其の製鹽高は實に朝鮮に於ける

▲需要の半ばを滿し得るに至れり殊に廣梁灣鹽田は年產額八十萬斤に達し販路は鳥致院大邱倭館定州に及び尚南鮮一帶の地に擴張されんとする趨勢あるが此れが爲山東

省鹽は累年驅逐されて今や平壤以外の新義州等に漸く頽勢を保つに過ぎざるの窮地に陷りたり加之一昨年山東地方暴風雨の爲め鹽田の破損頗る激烈を極め修理改築容易ならず爲めに昨年の製鹽量は半減したるも朝鮮製鹽業者は徹頭徹尾山東省鹽の輸入を防遏せんとして該鹽の輸入毎に

▲收支の如何を顧みず猛烈に競爭し大痛擊を與へたる事屢々なりしを以て輸入頓に減し現に一昨年迄鎭南浦に入港したる支那ジャンク數は減少し平壤以南の山東省鹽の取引は漸々なるに至れり只纔かに黃海道の一部成川江沿岸定州方面に需要行はれつゝ有る所以は廣大なる鹽田を有し產鹽頗る巨額に上るも未だ設備完からざる爲め生產物を倉庫に貯藏する事を得ず爲めに堆積保存に困難を感ずるを以て勞力と時間を念とせざる支那人は朝鮮に輸出し鹽

馬綿糸綿布等と交換するを以て輸入根絶せざるに因る者にして大正四年中に於ける鎭南浦輸入額は九萬一千七百八十一圓に過ぎず如斯山東省鹽の

▲輸入防遏策　は多大の効果ありたる結果廣梁灣鹽の大正四年中天候不良の爲め製鹽の見込立たず在庫皆無なりし結果顧客を逸したるも尚ほ秋冬の交に於ける漬物期の旺盛なりし注文に對し殆んど供給に遑なき程なりき左に客年中鎭南浦驛發送高を記すれば

▲一月八百噸二月七百五十一噸▲三月三千二百八十八噸▲四月千百四十四噸▲五月三百二十八噸▲六月三百一噸▲七月百三十八噸▲八月六百八十七噸▲九月百六十六噸▲十二月百噸▲十一月九百七十噸

重要仕向地如左

▲鳥致院千六百五十六噸▲金泉千百五十一噸▲大邱九百十二噸▲倭館八百八十八噸▲永同六百噸▲新灘四百八十噸▲大田三百十二噸定州百九十四噸等たり

◎全北の產業費

大正五年度全北道地方費產業費豫算は目下折角編成中にて未だ具體的に發表し能はざる由なるが聞く處に依れば產業費豫算總額は七萬一千七百○五圓にして之れを事業別にすれば普通農事三萬千九百七十一圓蠶業六千五百四十九圓畜產一萬零三百十九圓林業九千二百九十九圓水產一萬二千八百四十圓工業一萬一千九百二十七圓なり而して前年度同豫算總額は八萬六千百五十三圓にして數字上より見れば本年度は著しく減額し居れども實際に於ては各事業費共何れも增額せられ居るものにして豫算額の少きは本年度に於ては水利事業の如き土地改良に對する事業の土木局の方へ移轉となりたるを以て前年度に於て三萬餘圓を計上したる土地改良費が本年度に於て削除され居るが故なり大體に於て本年度は別に新事業新施設等なきも上記の如く何れも豫算額を增加して事業の擴張を期すべしと

◎慶北穀價趨勢

一昨年は米價暴落の爲め一般農民は年末決濟資金の爲め容易ならぬ苦心をなしたるが昨年末は正反對の現象にして是を一昨年に比すれば米價五割以上の騰貴を見加ふるに納稅二期分納となりたるが爲め決濟資金の調達に急ならず從て小農窮乏者の一部を除くの外持米賣急がざりし爲め一時米騰をなせし年末市場も本月に入り稍々下落の兆候を示し目下何れも氣配保合の姿にて舊正月までは現狀を維持すと觀測さる今最近各地穀價趨勢を示せば左の如し

	籾	玄米	大麥	小麥
慶州	四、二〇	九、五〇	四、〇〇	九、五〇
安溪	四、六〇	一〇、五〇	三、四〇	四、三〇
高靈	五、七〇	九、八〇	…	…
倭館	五、四〇	一一、〇〇	二、七〇	六、七〇
慶山	四、二〇	一一、一〇	三、八〇	六、六〇
長鬐	四、三〇	一二、九〇	三、八〇	三、〇〇
善山	四、七〇	一〇、五〇	三、一〇	…
青松	二、三〇	七、五〇	三、一〇	三、四〇
玄風	四、九〇	九、〇〇	二、八〇	六、三〇
軍威	四、三〇	九、四〇	五、五〇	五、七〇
清道	五、七〇	九、五〇	四、五〇	…
醴泉	三、三〇	九、七〇	三、九〇	…
盈德	四、五〇	一二、〇〇	二、五〇	四、〇〇
榮川	二、三〇	七、八〇	二、〇〇	…
永川	四、三〇	一〇、五〇	四、四〇	六、四五
浦項	五、三〇	九、〇〇	三、五〇	…
金泉	五、二〇	一〇、五〇	四、〇〇	六、五〇
義城	三、八〇	八、七〇	三、七〇	五、三〇
安東	三、一〇	九、〇〇	二、七〇	四、七〇
星州	四、八〇	一〇、一〇	…	…
尙州	四、四〇	九、〇〇	三、二〇	六、〇〇

◎迎日鰊刺網問題

慶北迎日灣口に於て諸方の漁業者が鰊漁期に於て無數の刺網を濫使する爲め相互の不利益尠少ならず爲めに浦項漁業者は該問題に對し當局に適當の處置ありたき旨請願したるが當局に於ても是を諒とし不日總督府技師及び高橋慶北水產技手を派遣調査せしめ最後の處決をなすべしと

◎不正漁業取締

釜山警察署にては警備船鯱丸を本月十日より浦項方面まで出動させ取締を嚴重にせる所龍浦沖にて石油發動船を母船とせる三隻の不正漁船を捕らへ浦項沖にては鯖を網にかけたまゝ放棄しある漁船一隻發見せりと而して同船は十二日釜山に歸港せり

◎釜山道路擴張　南濱燒跡

釜山府廳にては南濱海岸通り即ち水產會社西側及び前面並に海產組合事務所前に至る間の道路擴張及び變更に關して關係地主に其の所用敷地の無償提供方を交涉中にて商業會議所所有の六十六坪の寄附方に付ては十七日同所役員會を開き承諾する事に決定せる由にして個人の分も多分容易に決定すべしと

◎公州の勅語捧讀式

公州在鄕軍人後援會に於ては這に御大典當時在鄕軍人に對して勅語御下賜相成りしにつき之れが捧讀式を公州守備隊練兵場に於て十七日午後一時より開かれたるが加賀美後援會長一場の挨拶ありて後ち勅語を奉讀し小原道長官の祝辭等ありたり

◎木浦通信　木浦商業會議所新定款は中田書記長に於て起稿中なりしが愈々脫稿したるを以て十七日午後六時役員會に附議し其審査を經たる上發起人たるべき現議員の總會を開催すべし▲商議員表彰　會議所に於ては商議會に基き新組織に移る機會に於て創立以來の議員に對し在職年數に應じ適當なる表彰を爲す筈にして十七日の役員會に於て內議すべしと因みに明治三十三年創立以來今日迄引續き十七年間在職せるは福田有造木村健夫の兩氏にて山野瀧三氏は中間に一箇年を缺きて十六年村上直助氏の十五年藤森利兵衛氏の十四年等之に次ぎ役員として福田有造氏の會頭七年木村健夫氏の四年副會頭は木村健夫氏の六年村上直助氏の四年等なりと▲經濟會の活動　木浦經濟會は官民有志の重なる人々を網羅せる一種の社交團體にて府の繁榮策を研究する唯一の機關なるが大正三年以來諸般重要問題を研究解決し一般經濟界に貢益したるが過日新年宴會を開催し本年も益々會員募集活動すべしとのことなり▲光州議員改選　光州學校組合にては來る二月十九日を以て議員の改選を行ふべく選擧有權者五百餘名にして前回に比すれば約二倍の多數なり目下の處形勢は勿論不明なるも期日切迫と共に多少の競爭は免る能はざるべしと▲木浦米の聲價　本月七日大阪に於ける米格付に於ては木浦米終に群山米を拔き上格下格共に十錢づゝ高値を示したりと

◎國際連絡貨物加入　朝鮮に於ける日滿連絡貨物加入驛は從來新義州、平壤、鎭南浦、南大門、仁川、釜山の六箇驛なりしが去十四日より大邱驛も是に加入したり

◎浦項鰊初漁獵　慶北浦項を中心とせる沿岸にては去十二日鰊の初漁獵二千尾あり濱相場一尾四錢市場六錢なりしが本年は非常なる暖氣の爲め一般の漁業期共約二三週間遲れたりと

◎藥價高率徵收　歐洲戰亂の爲め藥材非常に騰貴したるを以て一般醫界に於ては已に藥價を高めたるが今回總督府にても各慈惠病院に向け收價規定標準の最高率を徵收すべき旨命令を發したるが其の結果平壤慈惠院に於ても從來小兒十錢の藥價を十二錢とし大人十二錢を十五錢とし十六日より施行したり

◎守備隊寒中演習　小寺大隊長の率ゆる大田第九師團第三、四中隊及び公州第二中隊の行軍演習は十七日孔岩里附近に於て戰鬪を爲し同日六時公州に入り十八日敬天里十九日論山二十日鎭岑に於て酷寒中の行軍凍結地に於ける散兵壕の掘開の演習を爲すべく決行され十七日に公州に入り公州第二中隊は同日午前五時に戰地に向け出發せり尚公州愛國婦人會軍人後援會よりは慰勞菓子料を送れり

入院隨意　胃腸病院　京城南大門通三丁目（藤本商店横入ル）　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

◎歸仁憲兵出張所移轉　平安南道成川郡崇仁面に於て試掘しつゝ有りし金鑛は今回採鑛認可ありたるを以て目下事業に着手しつゝ有るが此れが爲めに該地は急激に發展し移住民非常に增加したるを以て歸仁憲兵出張所は同地に移轉する事となれり

◎後援會部會長推薦　帝國軍人後援會にては李慶北道長官を慶尙北道部會長に服部警務部長及び入澤慶北第一部長を部會副長に推薦せり

◎公州圍碁大會　初段阪本森吉氏の公州に來りしを機とし有志の發起にて圍碁大會を去る十六日午前十時より公州寺に於て開催されたり會する者三十四名……

◎連絡船上陸客　十七日午前入港高麗丸一二等客（一等三名）久芳吉介、藤本元次郎、米國人一名（二等二十六名）稲葉武彦、淺海庄一、城月峰萬藏、河本……

一月十六日午後七時頃京城南大門……小男（二十）といふは去る十二日仁川府花町二丁目十六番……足と花町二丁目金雲興方に置きありし自轉車一臺を窃取し以前拾得し居りたる某憲兵……の名刺を利用し本町五丁目の伊藤質……四丁目古物商杉本方店頭にありし古……

◎正誤　……日本紙朝刊に慶北道長公金橫領……金十一萬九百圓と記載しあるは一萬九百二圓の誤記に付き訂正す

商況

東京　債券現物特電　十八日出來値段（前日との比較）東洋拓殖　七一、五〇　日韓瓦斯　—　朝鮮銀行　一六〇、〇〇　朝鮮瓦斯　一四一、〇〇　南滿鐵道　一四九、〇〇

東京　公債直取引特電　十八日出來値段（前日との比較）五分特別　九六、二〇　五分利　—　一回四分　—　二回四分　—　甲五分　九五、一〇

深川在米特電　十八日現在高　朝鮮米　一七二、〇三五　台灣米　八六、三八〇　內地米　二四一、九四九

東京期米特電　十八日前場二月限　休場

大阪株式特電　付値　綿糸株高の外大同小異

大阪三品特電

大阪期米特電　十八日前場

下關期米特電　十八日前場　當限寄付　一四、〇五　中限寄付　一四、三〇　先限寄付　一四、九二　め止

朝鮮物產特電　軟味を帶び居れり　十八日前場　米先限十五圓に寄付其儘彈割れ十四圓九十五錢と突込みたるも押目は買拾ひの爲め徐々十五圓に反しメ一寸さ打止めたり底意は何となく軟味を帶び居れり

釜山改良玄、群山改良玄、木浦改良玄、鎭南浦改良玄、群山特改、仁川改良玄、南浦改良玄、釜山上白、金山中白……　釜山大豆、慶山大豆、平壤大豆、元山……

雜報

◎過燐酸上進

表一叺十錢高を發し

◎綿糸續て不勢

一押

◎釘類は高値保合

◎千瓢行惱へ持合　千瓢は一時大阪の二十八圓迄暴騰せし……呼値今二十五圓……

◎鑵詰類の騰貴　鑵詰類は罐材料の騰貴に因り魚類一般に四打入一箱に付三十錢方の騰貴を示せり就中筍は新物出盛り……松茸……

◎白絞油漸騰　白絞油は各店の間に絶えず競爭販賣の振ひありて常に內地相場の下値に活動しつゝあり現今の取引値段さ一圓二三十錢を普通とせるが製油よりの最近入電によれば一圓七十錢以下にては引合ひ難き現在品の商況なるを以て各店共漸次價格を引締めさせるものゝ如し

◎浪平板不味　……平板の三錢安浪板同樣の見當……安値に望み難き商談……

◎鍋釜類暴騰　既報の如く歐洲戰亂の結果鍋釜類に影響する少なからず過般來大阪地方の各製造業者は原料高による製造手控へ方針を取るに至りしのみならず現在の持品に對しては先高を見越し表面在品缺乏を云爲して容易に賣應ぜず昨今京城釜一貫目に付三十錢新製釜三十九錢高となり……漸く拂底を告げつゝあり

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　三巴仲買店　電話長三三、七三九

爲益々強硬　原料品高の……骨製等の銅類は依然として原料品高の爲益々強硬なる氣配を持續せり

京城正米　……手持筋の賣り急がざるに依り前場後期に人氣狂はず而して入着したるはフリツポ玄庫當か七十七叺のみ

南大門の廻米　期米は底弱持合を續け移出白米又注文杜絶の有樣にて精米筋も依然見送り賣人も安値は手放さずさいへば市況は變はらぬ儘睨合の姿なり

長湍籾　六九叺　長湍籾　一三叺　仁川籾　一二七叺　仁川籾　一七叺　鳥山玄米　一四叺　水原白米　四〇叺　金村白米　三三叺　長湍籾　一七九叺　全義白米　五五叺　天安白米　四〇叺　坡原白米　二六叺　金村玄米　三三叺　金村白米　五五叺　一山白米　二五叺　開城白米　二二叺

仁川現物市場　△穀入津約六七百俵　氣配騰らざる唱へ　△正米入津千一二百叺中白米三百叺　氣配別段變らざる人氣なるも午前中商談行はれず　△大豆入津二百叺　氣配依然弱保合

仁川在庫穀物調　仁川穀物協會より本月十五日在庫調十七日發表したり　白米　七、〇一四　玄米　七四、七八〇　小豆　六四二　大豆　六〇、三五四　小麥　五、二一一　花子　三五七　粟　八、五二〇　胡麻　九八八　糯米　二七五　雜穀　八〇　一、九一一

仁川期米　十八日前場　十一錢安の入……

移跡九十八錢と高……

市場雰聞　前場の商戰

行賀仲買店　仁川海岸町三　電話長九二番

前場更に動かず　四十八錢

一般見送り狀

依然保合ふ

買時期尚早

東京高は稍寄

在米減少す　一萬五百餘

叺減少　船繰り得たる

四萬五千叺鮮人

側及支那人の思惑　一萬五千叺

仁川米豆取引所　十八日の三月限　前場　寄附　一一圓三十九錢　後場　出來値　前日と比較

約一萬叺の……　四千叺と見て大差なからん

仁川米豆取引所仲買人　海岸町　今村覺次郎

北濱だより

特殊株の反撥

船株盛り返す

青物だより　ダイコン　ゴボウ　ハクサイ　チサ　フランソ　サントナ　シンキク　ツクイモ　ナガイモ　サツマイモ　アカメイモ　グワイ　ユリ子　ハナキヤベツ　ナスビ　ウド　ハジカミ　メウダ　メゾソ　ミツバ　ユズ

演藝案內

壽座　本町　電話五七八　十九日替り狂言　伊賀越道中双六　大序より八つ目まで　梅川忠兵衛　封印切の場

壽館　電話一〇五〇　……

有樂館　本町一丁目　電話二六六　力士浪花節綾瀨川一行

御成座　電話二九一　十九回目特題　大和魂鑑　錦

黃金館　特別大興行　？　？

堀部安兵衛一代記　琵琶史劇　兒島旭洲琵琶彈奏

大正館　櫻井町　電話八七三番　一月十三日より特別大寫眞　軍事探偵大活劇　覆面のアマゾン（第二プロテアン）

浪花館　明治町　電話二六〇番　東京落語三遊派幹部一行

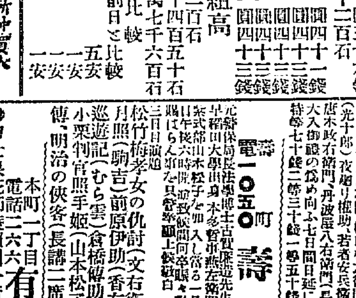
黃金館　黃金町四丁目　電話二六三七

京城學校組合告示第一號

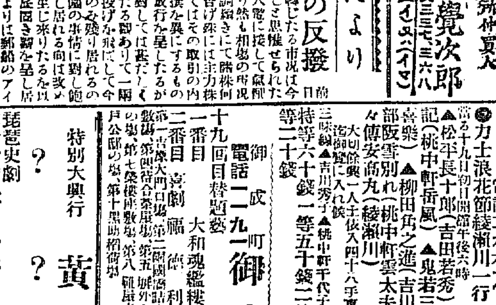
京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正五年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充



宇治　月桂園茶舖　京城旭町一丁目



滿蒙處分論

汽車
南行
北行
[illegible]

越後大評定

第百四席 早川貞水口演

江戸に於る關根彌二郎

玆に渡邊九十郎、關根彌二郎の兩人宮村の本多八幡宮にて東西に相別れると、彌二郎は『若殿が今から御不行跡、これも惡人の策略に違ひない何とか御無事を計りたいものだ』と思ひますに依つて、江戸に到著いたすと、豫て懇意であつた、以前高田御城下へ住居を致して居りました、春日屋傳兵衛と云ふ古道具屋を尋ねました、傳兵衛今は江戸表下谷坂本に來て、相變らず旗本屋敷、その他へ出入して、古道具の商をして居るが、書面を以て、始終彌二郎先生の許へ寒暑とも禮を缺かさずに居りますから、そこで彌二郎先生、春日屋方へ御入來になつた、來て見ると、春日屋と云ふ暖簾、店には骨董物が並んで若い者、小僧が整然として居ります 彌『免せよ』○『入來しやいまし誰人樣で』 彌『身共は越後高田の城下關根彌二郎と申す者、主人は在宿か』其聲を聞いて傳兵衛出て來り 傳『イヤ是は先生、能うこそ入來つしやいました』 彌『オウ傳兵衛、無事か』 傳『エーどうも能く御入來遊ばした、マア何卒御通り下さい』『此方へ何卒御上り下さい』と若い者が案内する 傳『サア〳〵先生此方へ』 彌『なか〳〵手廣で良い住居だ』 傳『どう致しまして』御茶席が出來て居る。其御茶席へ案内する、見ると釜がちやんと掛つて居る 彌『イヤ相變らず其身は、茶道は江戸でも此通り始終やつて居ると見える』 傳『どうも恐れ入ります、商賣が商賣で御坐いますから、釜は斯うやつて掛けて置きます、先づ其後は先生御機嫌克く、御出目度う存じます』 彌『イヤ圖らず江戸表へ罷り出た、エー夫婦とも……ア、左樣か子供は……ナニ日本橋仲通りへ奉公、イヤそれは感心、どうしても子供は他家へ遣はさぬと、成人の後、人の思ひ遣りがない、それは結構なことである』 傳『エー先生は相變らず御壯健で』 彌『イヤ身體はもう至つて丈夫である、時に傳兵衛、早速だが此度拙者江戸表へ出たのは、噂にも聞き及んだか知らぬが、御家に惡人蔓延り、それが爲め此方、國表月見ケ丘、小栗美作の屋敷へ乘込み、十三人の惡人を斬つて立退いたのである』 傳『ホ、ホー左樣なことは、未だ承りませぬ』 彌『どうも御家の惡人の張本、小栗美作を討たねければ、彌二郎死なぬ覺悟である』 傳『ハア御忠心のことで御坐います』 彌『それに就て、其身も知つたる永見市正殿の萬德丸樣が、當時越後家の御家督』 傳『ホ、ホー』 彌『三河守綱國公と申し上げるのだ』 傳『左樣で御坐いますか、近頃はあゝ云ふ事情で、高田御屋敷へは御出入いたして居りませぬ只貴下樣へは終始御便り致すだけで御坐います』 彌『ア左樣か、所が其若殿樣が、惡人の誘ひに依り、新吉原町へ御通ひに相成り御家のため甚だ心許なく、之に足を止め申すに付いて何うも他へ宿を取る譯に參らぬ、それで迷惑とは存じつゝも其身の家へ暫く滯在いたしたいと思ふが、如何であらうか』 傳『ヘエ宜しう御坐います、散々御恩を受けました貴下樣、何かで御恩返しを致したいと思つて居ります所、もう手前方へ御泊り下さるなどは、至極結構で御坐います、私共より御願ひするので御坐います、遠慮なく何卒御泊りを願ひます』。

◎九十會第一回句集 東京林露竹先生撰

塵溜の柴屑に白し今朝の霜 溪香
神園に輝く霜の灯哉 抱月
朝霜や牛乳賣の足袋の跡 和山
家鳩の顔を並べて霜の朝 双山
有明や霜踏んで行く人黒し 烏石
霜の夜や軒に小犬の泣きあかす 楓亭
ゆき〳〵する下駄音高し今朝の霜 木水
小春日や椽に持出す針仕事 孤舟
小春日や障子の內の經机 水戸坊
小春日の牧場に牛の眠りけり 楓亭
小春日や羽織脱ぎたり田舍道 保々
小春日や障子に映る猫の影 一笑
麥蒔や日脚短く野良遠し 楓亭
落葉して溪間は水の淀み哉 双山
一陣の嵐に落葉頻りなり 同人
掃けども〳〵庭の落葉哉 不岐
落葉籠歸りを急ぐ童哉 一笑

秀逸
陣營の叉銃を照らす霜の月 細月
高麗に來て霜夜の牖を閉く夜哉 一笑
島畑に麥蒔く船の渡りけり 水戸坊
そこ此處に麥蒔く人や山畑 木水

三光
人 落葉して夕日に高き銀杏哉 三峯
地 麥蒔の人蹲塞し夕月夜 一笑
天 獨居に落葉の雨を聞く夜哉 抱月

一月二十日九星
舊十二月十六日 丙辰
本命八白 [illegible] 先負

[illegible]

德富蘆花譯述
探偵異聞(第三版)
▲定價金二十五錢 ▲郵稅本社持

○巢鴨の奇談○うらおもて○毒藥○雲がくれ○秘密條約○大隱謀○まかつみの七編にして凡て外國探偵小說中の粹を拔き之を譯するに蘆花氏得意の妙文を以てす波瀾萬丈人物出沒の奇一讀魂飛び神飛ぶの思あり蘆花氏の著書中全く色彩を別にしたるものにして亦以て著者の多趣味多方面の筆致を窺ふに足る可し 京城日報社代理部

◎只一枚のハガキで分る◎空く時期を逃するな◎治る證據を進呈する◎マア貰て見よ實に驚く

肺病全治者續出す
……全治實歷談……

私は自身肺病に罹り色々の治療もいたし又藥も隨分飲んで見たが更に効驗がないので一時は殆んど失望しこれは迚もだめだらう此難病が治る譯がないと思つたが如何にも殘念である自分は多少醫藥學の研究をした生家は醫業である必ず治して見せるとの大信念を以て治療に全力を盡して弟の專門醫の助けもあり苦心研究の末創製せし奇藥ウニコールの御蔭で難病も遂に全快したので此上は世の同病者にも幸福を分ちたいと決心し其から之と云ふものは同病者と聞くと之にウニコールを勸め多くの患者に應用せしに今日までに全治快復した人の感謝狀は已に幾千人だか分らん此の上私の希望は世間廣く津々浦々に迄此難病に罹り煩悶して居る患者に自分の全治療法を知らせ其悅びを分ちたいのであるが何分此病氣に罹ると色々の治療に迷はれ全く治る時機を逸するのは如何にも心外である(談)

肺病の治る無代の書物

同病者無代 第五十五版 肺病患者寶典
侯爵 東郷閣下御題字
伯爵 久我閣下御題字
伯爵 土方閣下御題字
ドクトル 兒島先生稱讚
醫學士 海輪先生證認
醫學士 本多先生證認

此の本を貰ひ直治されよ▲因に此特効藥は名高き大學の醫學者海輪先生、醫學士本多先生ドクトル軍醫正等多くの醫學者が確認稱讚せられたとは東京大阪の新聞に報告の通りである尙氏は前記の大書冊を無代にて施本するとの事だから同病者は直に日本橋吳服町順天堂藥院安原先生宛申込其送付を受られよ…SO生

クスリはホシ
製劑四十余種各特約店にあり
東京京橋 星製藥株式會社

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御申越下さい
身體に害なく通經する良法 適に御知らせ
東京神田錦町三ノ一九 境田けい

千頁の大冊定價五十錢
—電車の廿回券さへ五十錢を要す—
—敷島拾個の代價は本書二冊に當る—

大正五年 國民年鑑

▼國民年鑑の編纂法は世界に有名なるアルマナックス又はイーヤブックの編纂法に則り更に是を日本的に改造したるものなり

▼國民年鑑には政治、經濟、文教、軍事は素より娛樂、演藝、相撲等の雜事に至る迄大凡社會百般の事實現象は悉く網羅しあり

▼國民年鑑は在來普通の年鑑の如く無味乾燥なる統計集に非ず其特色は始より終りに至るまで讀んで興味の津々たるにあり

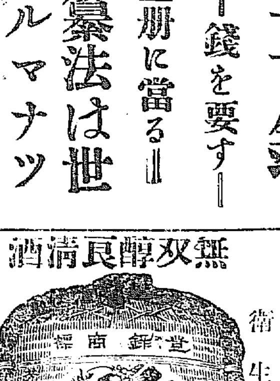
▼國民年鑑には現代日本及世界に活動せる知名の士約二千人の小傳を掲げ又銀行會社一覽を附して年鑑の特色を發揮したり

▼國民年鑑は大正五年度に於て特に御大禮に關する御儀式典禮奉祝其の他諸般の事項を卷頭に掲げ國民千載の記念たらしむ

發賣所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

りん病ばいどく豫防品
ルーデサック卸小賣
京城南大門外停車場通ドラッグ商會滿鮮本部
電話二五六七 振替四六七

無双醇良清酒



衛生無害 品質無双
首藤合名會社吟造
精白米卸小賣 キリンビール
サッポロビール 醤油 ㊤ 龜甲萬
⊕各種 三矢布引サイダー シトロン 各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黄金町(電話一一七一番)

生殖器の形と力
生殖器の外形が人並でなく發育不完全で包莖とか陰萎早漏遺精夢精衰弱交接不快脳神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回每に効力が現はれ昨日迄心細く思ひし人も想像外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚湧くが如し詳細はハガキで申込あれ圖入說明書無代寄送す物は試めし今直ぐ照會せよ
▲大阪其他好商の類似品あり警戒せよ
東京神田かぢ町五 電話神田七三二番
東京 眞空療法研究所

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥 賣藥 醫療及試驗器械 卸問屋
懇切叮嚀、迅速確實、市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部
電話 一二二 一〇一七 六四二 振替京城三〇五

診察時間
自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

營業課目
船具金物、鐵道、鑛山、土木建築材料、ペイント及油各種
天幕雨覆製作、朝鮮唯一
直輸入品ハバクスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候
總督府認可船燈救命具信號器販賣所
近江帆布株式會社朝鮮一手特約店
大阪小森製鎖場製品朝鮮代理店
村谷吉藏本店 仁川本町一丁目電長五六振替京城五九
支店 義州印刷所 平安北道義州城內電長二一振替京城九八一

京城日報　第三版

十九日朝刊（第三千四號）

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　卷口政太郎　發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社

▲十八日後場　大阪安を受けて賣先拔に一段安　六百石賣六百石買　七百石賣五百石買　五百石　向附せず保合狀態を繰り返し

出來高　四千七百五十石　二月限　七千四百五十石　三月限　二萬八千二百五十石

總督の訓示と吾人

十二、商工業の發達

更に總督は商工業に對し一層長足の進步を致せる旨を述べ工業製產品は既往五箇年間の首尾を對照するに年額一千五百五十萬圓より二千九百五十萬圓に進み、又商事會社の投資額は八千五百萬圓より一億四千萬圓に增加せりといへり、吾人は此間に對する總督の施設經營中其主なるものに就きて區分略述し、今日の進境を見るに至れる所以を述べて其將來に對する吾人の覺悟を槪說せんとす

諸般の施設に先達ち一言す可きは會社令の施行なり、日韓併合の事行はるゝや企業熱の勃興に伴ひ、會社組織を以て各種の事業を營まむとするもの漸く多きを加へ來れると同時に所謂泡沫會社濫設の傾向あり、爲めに生ずる各種の弊害舉げて數ふ可からざるより、總督は朝鮮產業の健全なる發達を期せんがため百方研究の結果、會社の設立に對して許可主義を採ることゝなし、明治四十三年末を以て會社令を公布し、翌年一月一日より之を施行したり、爾來會社企業の計畫は年を逐うて健實に赴き不正利得を目的とするもの〻如きは殆んど其の跡を絕つに至りたるより大正二年十一月更に其の一部に改正を加へて手續を簡捷ならしむると共に舊規定の不備を補ひ、之れが完璧に遺憾なきを期せり、今本令の施行以來大正三年末迄に於て會社の設立其他を許可したるものを舉ぐれば、會社の設立百十一件、其の資本總額一千七百九十八萬餘圓の外、內地若くは外國に於て設立したる本店設置七件、其資本總額二百三十四萬餘圓にして、前同會社の支店設置二十八件なりとす、而して之れ等は孰れも鞏固なる基礎を以て健實なる發達を示せるのみならず、斯界は以來益々振作し、朝鮮銀行の調查に依る昨年末現在會社數は鮮內に本店を有せるもの而已を以て優に二百十六箇を算し、其既拂込金額三千八百八十三萬餘圓、公稱資本五千五百十六萬餘圓を數ふるに至れり

又市場は從來朝鮮に於ける商業上最も重要の機關にして、各地方に於ける日夕の需給は勿論、其他商取引の大部分は皆之に依りて行はれ其新設變更は地方經濟に影響する所尠からざるを以て、總督は舊來の慣例に基き、總て之れを道長官の監督に委せしが、經營管理の方法一定せざるが爲め、種々の弊害を釀生するの嫌なきを免れざるより、大正三年市場規則を發布し、營利的市場の濫設を防遏すると共に從來の市場に對して種々の權利を認め、之れが改善發達に違せる結果、併合前年に於ける鮮內各地の市場數は總計九百三十個、其取引高總額六百四十二萬三千餘圓なりしも、大正三年末に於ては一千二百二十八個の市場を見、其取引總額四千三百四十一千七千餘圓を算するに至れり

支那の鐵道（十一）

粤漢鐵道

英佛獨三國の協定が結ばるゝに當り獨逸は一九〇九年支那政府との間に一の契約を結び、此契約によりて支那政府は獨逸より三百萬磅の貸與を受け、獨逸人は漢口より東四川方面成都まで鐵道敷設權を獲得する筈なりしが、前記三國間の協定成立するや形勢全く一變し、漢口廣東線、及び漢口四川線の敷設に關する交涉は互に相提携して行はれたり、右の二線路敷設のために英佛獨三國は協同して五百五十萬磅の資金を調達し、各國は各々其權利を有する區間を敷設するために、其々技師を任命せんとする運びに至りしが、此時突然米國資本團が再び此計畫に割り込み來り、米國側の支那問題に加入せんとする運動は頗る猛烈となりたり。米國資本團は華盛頓政府の後援を有せるを以て其活動大に見るべきものあり、其結果一九一〇年には英佛獨三國は米國に對し鐵道敷設の利權に均霑することを認容するに至れり。翌一九一一年五月米國を加へたる四國資本團は支那政府と協定を遂げ、前記二線路を敷設するために第一借款として六百萬磅を調達し、更に必要あらば追加として四百萬磅を調達することゝし、獨、英、米三國は各技師を任命し、佛國は鐵道の敷設工事には關係せざりき。而して測量は一九一一年に著手したれども、革命亂のために中止の已むなきに至り、一九一二年再び工事を繼續するに至れり。粤漢線の幹支線左の如し

幹線（一）廣東韶州間一七〇哩、內一二二哩既成（二）韶州衡州間二〇九哩未成（三）衡州長沙間二三〇哩、內三三哩既成（四）長沙岳州間一二〇哩未成（五）岳州武昌間一六〇哩未成

枝線（一）心州、佛山、三水間三三哩既成（二）洲津鄉間六五哩既成

信浦鐵道

信浦鐵道の敷設權は久しき問題たりき、其敷設權の始めて請求せられたるは一八九八年にして滬寧鐵道敷設の請願と同時なりき。其豫定線は揚子江沿岸の南京に對する一地點浦口を起點とし信陽に於て京漢鐵道と連絡するにありき。竣工の曉は此線により更に上海漢口を經て北京と連絡すべく全線延長二百七十哩なりとす、支那政府と中英公司との間に契約成立したるものなるが、佛國も亦此線路の建設に參加權を有すと認めらる。久しく消息の傳はるものなかりしが、一九一三年十月に至り漸く線路の測量に著手せるを見たり但し其の竣成は何れの日なるべきか。

東歐の形勢

在東京　一記者

▲今日佛白戰線、露國戰線、敵味方共に交綏の狀態に在り、東歐羅巴に於ける獨墺軍は、其進勢を驅りて蘇士を衝かむとし、今や其準備略ぼ成れりと云へば、一月末若くは二月初旬に於て、此方面に於ける爭鬪を開始すべきか。

▲昨年初冬、獨墺軍塞爾維に殺到し、一舉其の全土を掃蕩し去りたるに對しては聯合軍側の一大損辱にして、英佛聯合軍のガリポリ半島より撤退したるは已を得ざるに出るとは云へ、益々以て敵軍を增長せしむるに足るべく、敵軍勢に乘じて黑山國に迫り、同國政府及び外交團は既に其の首府セッチンエより撤退したり、或は云ふ、黑山國は遂に獨墺に屈服するの已を得ざるに至るべしと近報に依れば、英佛聯合軍の希臘サロニカに集合せるもの約三十萬なるに對し獨墺軍は五十萬を越ゆる計算なる上に、土耳其、勃牙利の之に與みするあり、輓近東歐の事多く意の如くなるを得ざるは、主として衆寡相敵せざるが爲めなりと云ふ。

▲其れ獨墺土勃諸軍相應じて動くや此度の大戰役の爲めに其端を起したる塞爾維は遂に其全國土を失ふ。今若し更に黑山國を敵手に附するあらば巴爾幹に於ては羅馬尼亞と希臘とを除くの外は、悉く敵手に落ちたりと謂ふべく、希臘兩國は今猶ほ局外中立者なり、羅馬尼亞の如きは因さ依違決せざるものあり、若し獨墺側の壓力強きを加ふるあらば、或は之れと相通同するやも知るべからず。希臘は其領土の一部を提供して聯合軍に使用せしめつゝありと雖も、未だ以て英佛の味方を以て之を目すべからず。之を要するに、東歐羅巴に在つては聯合軍の形勢日に非なりと云ふを妨げざるなり。願ふに此度の戰役に於て、若し交戰者の實力を相對比するときは、聯合軍側の強大なる遙かに獨墺に超越するものあり。然るに猶ほ且つ我は不利の地に立つ所以のものは、常に敵の爲めに機先を制せられ、聯合軍の力を集むるところには敵軍來り爭はず、聯合軍の豫じめ期せざる處に敵軍殺到する爲め、之に對應するもの常に奔命に疲るゝの奕あり。東歐の戰局の如きは則ち其著例たり。聯合軍豈に實力に於て缺ぐ處あらむや。從來の事は偭ま其勢の不可なるものあるが爲めのみ、聯合軍たるもの堅忍自重、以て持久の計を全くせば何の時か遂に大勢の一轉するを見む。我味方の恃む所は一に此に存す。

▲歐羅巴電報は、巷りに獨墺土同盟軍の埃及遠征計畫定されるを報す。其の實なかから獨墺軍の最も苦む所は其兵員補完力乏しく、後方勤務頗る難なるにあり。土の一たび露國內に進入して遂に斷念する爲すある能はず。リガ其他主要の地を眼前に臨みつゝ一歩一歩の退却するものこれが爲めなり。其の巴爾幹に殺到して一時の奇勝を爲したるは地形の利に投じ、且つ聯合軍へ力及ばざる處に出でたるがためにして、其の東歐に志を逞くし得たるの日は、則ち彼等亦脅縞を貫く能はざるの弩末のみ。其の埃及遠征を云ふものの畢竟擬勢にして實形にあらず、從て獨墺軍をして其思ふまゝの行動を將さしむるも途に蘇士攻擊に止るべく、蘇士を戰場と爲し東西交通を遮斷するは、味方の痛苦とするところなりと雖も、獨墺の力能く其久しきを持す能はざるや明白なり

放浪漫記

大谷光瑞

（承前）此地又官憲の檢閱頗る嚴重にして敢て香港に讓らず、我邦人は頗る寬大なり、本年二月暴動以來、我邦は同盟の商議により英人を助け危險を脫せしめ、猶豫備の爲常に軍艦を派し、妍細の出入を妨げ不虞の變に備ふ、當地方の英人の高枕閑臥し得るは、寶に我邦の保護を加ふるによる、然れ共又我邦人の此半島に扶植せる利權も甚大にして、往日は總かに醜業を營む者を除けば、僅々の商人に過ぎざりしも、近時はゴム園の開拓と相待ちて、著しく渡航を增加し、良莠同船を免れ難しと雖も其資本を投下せる事亦莫大なりとす、素より箇人の資本の如きは統計を得難しと雖も、合算して我邦三千萬圓を前後せるなる可しとの說あり、我邦移民中米國の如き勞働移民は別とし資本を以て移民せるもの、半島の如き成功せるものあらず、今後資本の大小を論ぜず、之を投ぜば利を得ざるなし、米價の下落に泣き就職の難きに苦むの士、旬餘南行せばこの樂土あり、故に世斷く之を知り、現時南洋の聲我邦に響流するや又宜なりと云ふ可し、唯惜むらくは一攫千金の誤想にあり、世に一攫千金なるもの、賭場に輸贏を爭ふ外あるべからず、半島の拓殖利大なりと雖も、既に賭場に非ず堅實なる勤勉と忍耐の下に、他に比し頗る有利なりと云ふに過ぎず、故に事の成否は一に懸つて勤勉忍耐の如何にあり、世豈賭場にして富鉅萬を累ぬるものあらんや、今回も百餘名の上陸者あり、猶多くを船員に聞くに每航槪ね然り、此きは二百餘名を超ゆる時ありと、是我移民の大成功にして邦家の爲め慶賀に堪へざる所なり、然れども半島に於ける我移民の地位は猶著しく劣等にして支那人印度人馬來人皆我を輕侮せり、是昔日我邦人は殆んど醜業者にして、當時より養ひ來れる感想にして、一期に拔く可からざるもの〻如し、小生は當地にて上陸し次便を待ち申候、今回は船行のみにして別に申上ぐべき事も無之、此にて擱筆致し候　草々不一（此項完）

【十二月二十二日新嘉坡にて】

紡績の前途

▲本年の經濟界を棉花棉系の方面より其の推移を思ふに是等商品の內的需要と外的供給の頓に盛況を呈し我が經濟界を潤ほすに至らんか即ち原棉市價は歐洲戰爭の勃發後封鎖國の需要減退後紡績業の不振に思惑せられて暴落を演せしも新棉出廻以降作柄も植付反別減少にて千百二三十俵の收穫に上れる事明白となるや市價遙かに四十圓を突破し直接綿系の昂騰を促して對外供給が頗る有利の勸定となり來れり

▲本年度各月平均全國紡績綿系出來高は一月末日限りの一割封緘精紡機解盤して全運轉を見る都合なれば其製產高は十六萬五千梱に達し而して其中織布川其他の內地織需要は昨年の不振ありしにも似ず九萬二千梱に上りたれば經濟界の快復と共に優に十萬俵の消費は易々たるべし而して殘額六萬五千俵の輸出處分は愼重考慮を要すべく之れ聽て我國紡績業の伸張にかゝり延て經濟界に多大の影響を及ぼすものなれば此が處分如何は以て多少共今後の財界を左右すべき乎

▲綿系の輸出獎勵は可なれど支那紡績の完全なる發達を遂げざる以前に本邦綿系を支那に輸出するの途を講ずるは焦眉の急にして之が最も捷徑なる所あり、當業者中又玆に鑑みる所あり、對支輸出に努めて輓近印度綿系を漸次支那市場より驅逐しつゝあるは甚だ欣ぶべき現象にして更に進んで印度に織布の販路を擴張し來りたる結果にや、近く英國の一議員は下院に於て我國の織布印度輸入保護の質問をなせりと云ふ、臨々たる輸出獎勵案を議して容易に決せざるが如き大勢に逆行せる姑息の策は絕對に不可なりとす、個々日貨排斥の聲に脅かされ紡績業者が徒に眼前の小利に眩惑せられて此の多給を閑却度外せんには本邦紡績業は勃興せる支那紡績の壓する所とならむ、若し今日に於て紡績及び關係事業が對支輸出の方策を定めず五六月の閑散期に至るも其確乎たる方針を立つる能はずとせば他日臍を嚙むの悔あるべし（大阪支局より）

京日詩壇

○乙卯除夜　古城　梅溪

五十宦遊歸未得、殘燈守歲獨蕭然、雪埋新墓豐山暮、月戀病窓筑海天、感物光還吾生何幸除餘厭、又是平安送一年。

評曰　劍南老境距武不遠

○同上　圓山　牧雲

逃任邊疆席未溫、日征歲晚欲還元、輪廻到底無端處、遁跡從頭不任痕、新近人煙居鬧市、乍移禪杖闢山門、唯期一鉢來年計、心境俱忘豈避喧。

起滅循環事事違、了知四十九年非、旋挑灯火道相照、徐遣歲華緣是依、禪關忘管帶、心空法界絕纖微、却怪無人知此意、遮莫通宵風雪飛。

評曰　二首瘦思峭峻、神氣自在、語皆本色、具有逸致

○朴趾源　松田　學鷗

文學衰頹慨且憂、滔々摸倣不知羞、工夫夙昵開生面、積弊偏憐多俗流、瑟眼驚人地球說、雄篇絕世熱河游、休言寓貧詞客、標渺鴻音商聲秋。

評曰　一結推獎至矣

撞球界の泰斗　玉乃一熊著　菊判上製三百餘頁　總クロース美裝函入

撞球指南

著者玉乃氏は球界の泰斗にして吾球界の爲に貢獻する事多大なるは、苟もキユーを手にする者にして之を知らざるものなき所也。我國斯技の今日の如く發達せるは、實に氏の賜といふべし。而して今日斯界に有名なる田村、鈴木、友石等の諸選手、皆氏の敎を受けざる者なし。就中數年來歐米各國を往來して世界的大選手の稱號を爭ひつゝある彼の山田浩二氏（本書には山田氏の序文あり）の如き、最も永く玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏のマッセーが、現時世界第一と稱せらるゝ所以のもの、氏の嘗て玉乃氏に就き斯技の蘊奧を究めしに因らずんばあらず。歐米選手多しと雖も、學理と實地を兼備し、人に敎ふる妙を得たるもの蓋し玉乃氏の右に出づる者なかるべし。氏今本書に於て斯技の蘊奧を吐露す。書中說く所、氏が二十年來研究せる撞球の理論と方法に就て細大漏す所なし。本書は初學者を導く懇切叮嚀、而して推理論斷、實に斯技の楷梯なり、初學者は之によりて斯技の秘訣を披瀝せる、選手に對する指南車たり。後學者は之によりて斯技の十年難解の疑團を氷解すべきなり。實に是れ球界空前の大名著なり。

定價壹圓五拾錢　郵稅本社負擔

發行所　京城太平通壹丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

東京落語三遊派幹部一行　浪花館

廣江煙草と半額券

力士浪花節綾瀨川一行　有樂館

左記販賣店にて左の煙草御買求めの方には浪花館及有樂館の各等入場半額券を進呈します

◇金剛　壹個に付　特等半額券一枚

◇しらぎ　壹個に付　壹等 貳等 參等 半額券 何れにても 一枚

◇百圓票　貳個に付

但し御入場の際は實物煙草御示しの事

販賣店
南大門三丁目　玉植商店
本町二丁目　寶屋商店
明治町角　安武商店
本町二丁目　小林商店
長谷川町ホテル前　齋藤商店
南大門通明治町角　趙商店

京城　廣江商會

二月號出ツ

教育的斬新ナル子供畫報

東京高等師範學校敎授　同附屬小學校主事　佐々木吉三郎先生贊助

教育畫報　新幼年

東京美術學校卒業　森田但山畫伯主筆

本號附錄ナイルス式宙返リ飛行機ハ斬新ナル考案ニナリタルモノニシテ從來ノありふれタル手工的折紙トハ全ク其撰ヲ異ニシ子供ノ體育的遊戲ニ適シ最モ興味アル活動的敎育玩具ナリ

御注意　同佐々木吉三郎先生、種々ノ幼年雜誌ニ御助力ナク、多ク御注文、メ御意ノ節ヲ、與附ノ乞フ

毎月一回發行　定價金十錢　送料一錢

送料共前金半年一圓六十一錢　一年分一圓七十錢

發行所　東京兩國　新幼年社　全國賣捌書店

振替口座東京三二〇八五番　電話本所三一〇六番

○御製と皇后宮御歌

十八日午前十時宮中に於て歌御會始めの節御下賜の御製並に皇后陛下御歌左の如し(東京特電)

寄國祝

御製

さしくに我が日の本のさか行くもいそしむたみのあればなりけり

皇后宮御歌

神風のいせのはまをきまねかねこしたひよらん四方のくにく

第三十七回帝國議會

貴族院(十八日)

△豫算總會

貴族院豫算總會は十八日午前十時十五分開會、岡部委員長は豫算は急を要するに付き先議すべきや否やを計り目賀田男の反對ありたるも先議に決し武富藏相の提案理由説明ありたる後

△木村誓太郎氏 は陸軍の兵器を太平組の手を經て賣却したる理由を質し若し契約を破棄するに於ては賠償の契約ありやと問ひたるに隈政府委員は之れに對し陸相の出席なき爲め答辯の延期を請ふ次で

△目賀田男 は臨時事件費中に急を要せざるものあり又軍事に何等關係なきものあるは如何と質し

△武富藏相 豫算は委皆支出濟みとなれるが故に之を要求したる次第にて軍事に關係なきものは要求し居らずと答ふ目賀多男は更に一般合計に屬すべき兵器賣却代を特別會計に組み入れたるは便宜の爲めなりと陸相は答ふるも斯の如きは憲法を無視したる不法行爲にあらずやとて首相の答辯を求む之れに對し

△大隈首相 は政府は法律の許す範圍内に於て之を爲したるのみにして毫も違法に非ずと辯ず次で

△田健次郎男 は兵器賣却代金を特別會計にて扱ふは陸軍の不信を招く嫌ひあれば首相は充分調査考慮の上善處あらんことを望み

△橋本圭三郎氏 は兵器賣却代金を特別會計に編入したるは藏相の所管なるを以て藏相の答辯を望むと述ぶ

△武富藏相 は銃器加工の爲め砲兵工廠に購排ひ更に陸軍省に交付せしめたるは會計法上適法なりと信ずと答へたるに目賀田男は藏相の言明の如く適法とせば今更上奏裁可の手續を經べき要あらずやと猛襲し藏相の答辯あり次で

△水野錬太郎氏 は一般會計の所屬たるべきものを加工補充の爲め作業會計に移したる理由如何又物品拂下を競爭入札に依らず太平組と隨意契約を結びし理由如何と質す右に對し

△武富藏相 は砲兵工廠は賣却代金を以て新たなる兵器を造り之を陸軍に納むるが故何等差支なし又兵器は軍事上機密に屬するが故に賣却に際し競爭入札を避けたる次第なりと答ふ水野錬太郎氏更に一時加工の爲め作業會計に移すも其金額は砲迄一般會計の性質を失はずと迫りたるに藏相は道は砲兵工廠に於る作業會計の結果にして特別會計と爲すも差支なしと信ずと答へ正午休憩

休憩後午後一時再會

△倉富勇三郎氏 は先づ陸軍省が一般會計所屬の兵器賣却金を何故に特別會計に組入れたるやと質したるに

△武富藏相 は刑は即ち保管轉換の措置に出でたるものにして何等不都合の行爲にあらずと答ふ倉富氏は更に陸軍省より砲兵工廠に渡すべき兵器は加工の爲めなりと云へるが新式の兵器にも又加工の必要ありやと質問す

△隈政府委員 は兵器の種類に依り改造の程度並に加工の程度異なれりと辯明したるに倉富氏は藏相の答辯と隈局長の答辯とには矛盾ありと難詰し次で

△目賀田男 は午前と同樣一般會計に屬する收入を作業會計に入れしは規程を無視し勝手に繰り入れたるにあらずやと詰り隈局長遂法に非ざる旨を答ふ目賀田男は更に本日は陸相出席なきを以て出席迄會議を延期すべしと發議し質問未了の儘午後二時散會せり(東京特電)

○露國極東局長の使命

日露重要問題の豫備交渉

露國太公殿下隨行員極東局長コザコフ氏が或る使命を帶び居れるは確かにて既に日露間の重要問題に付き豫備の交渉ある由にて正式の交渉は何れ露都に於て開始さるならんと傳へらる(東京特電)

○露太公御來朝と露紙

新聞コーチは露太公の日本訪問に關して述べて曰く露國の輿論は確然たる同情を以て日露友情の進捗に注意しつゝあり露國は日露間を疎隔せしむる種々なる問題に對し誠意を以て之れが解決を試みたる後ち日露兩國は相接觸して協力活動すべき共通點あるを發見したり云々(露都電報)

○特使延期と英露佛公使

特使延期通告に關し英露佛公使は之を以て日本の支那帝政に對する何等かの決心を爲せるものと認め日置公使に向つて今後の方針に付き問合する所ありたり(北京特電)

○蒙匪歸化城に肉薄す

蒙匪討伐の爲め十、十一兩日南苑駐在の第二十師團歩兵一個中隊を張河口に出動せしめたるが今や蒙匪三千歸化城及び張河口に肉薄す兩地共に守備兵少なく歸化城より十六日北京政府に向けを出入せしめ軍容を整へ居れり而して歸化城よりは二箇旅團の出兵を請求し來れり(北京特電)

○段血書して勸告す

段祺瑞は十六日左の指を噛み切り血書して袁世凱に對し帝政を犧牲として時局を救ふべしと勸告せるが袁は頑として顧みずと(北京特電)

歐洲大戰亂

▲高加索の露軍優勢

伯林來電公報に曰く君府よりの報道に據れば高加索に於ける露軍の攻勢は土軍をして退却を餘儀なくせしめ或地點に於ては敗退の深きに達せり(紐育電報)

▲獨帝出征

アムステルダム來電、獨逸公報に曰く獨帝は十六日伯林を出發戰地に向へり(倫敦電報)

▲墨山國の降服

歐洲來電に據れば匈牙利首相曰く這回黑山國は全然無條件にて墺國に降服せりと(東京電報)

○露領漁業と抗議

露領沿岸に於ける漁業規則改正は我既得權を侵害するもの多し帝國政府は浦鹽駐在總領事に對し露國官憲に抗議す可き旨訓令を發せり(東京電報)

○葡人禮式顧問

北京駐在葡萄牙公使は支那禮式顧問となれり(北京特電)

○未曾有の應募額

日本染料株式會社募集株十萬株に對し八千六百三十萬株といふ未曾有の應募者ありたり(東京特電)

○白川氏辭表提出

丸龜市選出代議士白川友一氏(公友俱樂部)は衆議院選擧法違犯事件に依り目下大審院に於て審理中にて二月十五日決定の筈なるが無罪の見込なきより十八日島田議長の手許迄辭表を提出せり次點者は加治壽衞吉氏なり(東京特電)

雜報

◎朝鮮の教育と教員心得(五)

内務部長官 宇佐美勝夫氏談

▲教授の連絡統一 又教師により科目を分ちて業を授くるは高等教育に於ても常に見る所にして、初等教育に於ても亦見る所なるが、斯かる場合には特に連絡統一に意を用ゐて教授を爲さんことを要す此の點に於ても尙ほ頗る遺憾の點あるを見る。教師は宜しく教授細目等の編制等に於て周密なる研究を遂げ重複を避け孤立を防ぎ各教科の教授細目等をして首尾一貫彼此統一あらしめんことを期し諸教科に於て生徒の受くる知識をして渾然一體たらしめ能く理解熟せしめんことを要す之が爲には獨り教授細目等の編制の際に於けるのみならず常に打合會を開きて些の遺漏なからしむると共に生徒に授くべき知識技能を精選して成るべく必要なるものに限り徒らに多きを貪らざらんことを期せざるべからず、生徒に授くべき知識技能の中には、只一通りの理會にて足るべきものあり、又確實に永久に把持せしむべきものあり、是等は教材選定の際に於て能く攻究するを要す、又現今教授上の實際に於て、頗る重要なるに拘らず割合に等閑に附せられつゝあるは、生徒をして反復練習の効を積ましむることの足らざること是れなり。故に折角授けたる智識にして確實ならず隨つて應用の自在ならざるものあるは常に見る所なり。されば教師は一旦授けたる知識技能は機會ある毎に反復練習せしめ、其の修得せる所を確實ならしめんことを要す。

▲教則と訓育方針 又各教科目の教授に於ては、單に知識技能の授與に止まらず、同時に訓育に留意すべきは、教則其の他の教育に關する法規の明示する所なり、故に教授に於ては何れの教科たるを問はず常に訓育に注意し、統一ある知識技能の授與と共に一貫せる訓育の方針に據り、兩者相俟ちて教育の目的を貫徹せしめんことを要す。若し其れ訓育にして終始統一ある方針に據らざらんか、單に訓育の効果を擧げ得ざるのみならず、隨つて教授の効果をも減殺せられ其結果教育の目的を達し得ざるに至るべし。例へば體操科の教授に於ては姿勢の整正を始め規律節制に就て注意督勵すと雖他の教科の教授に際しては割合に姿勢を亂し規律節制に缺ぐる所あるが如きは單に體操科教授の目的を達し得ざるのみならず當該教授の効果をも完うし得ざるの結果に陷るべし。是れ教育の任に當るもの、深く注意して誡むべき點なり。此の如くにして生徒の修得せる智能は訓育と相俟て統一を保ち確實なる根蔕を具へて其の應用亦敏活自在たるを得べし此の程度に達するにあらざれば眞の教授行はれたりと稱することは能はざるなり、教育の任に當るもの、熟慮反省を希望して已まざるなり。

▲自學自習の習慣 第五項は生徒をして學習に興味を感ぜしめ進みて自學自習の習慣を養はしむべきことを注意せられたるものなり學習に興味を感ぜしむるには先づ教師は教授の方法に注意するを要す、其實際的方案は種々ありて今玆に説示する能はずと雖も要は生徒の理會の遂行を圖り、其の求知心を刺戟して論進みて智能を欲求するの心情を振起せしむるにあり、然るに世の教師に徵するに、往々にして徒らに教科書に拘泥せられて漫然たる講演をなし、或は生徒の心力發達の程度に適せざる事項を抽象的に説示して、生徒をして困惑せしめ却つて其の學習的興味を消磨せしむるが如きもの無きにあらず。深く誡むべきことゝす

◎日滿貿易聯絡會議

日滿貿易聯絡會議は昨秋東京に開催の筈なりしが都合に依り今春四月に延期せられたるが其期日は未定にて目下鐵道院より在滿鐵道本部に照會中なれば近々決定を見るに至るべし列席鐵道局は東京、鐵道院、朝鮮總督府鐵道局、南滿洲鐵道にして其鐵道總裁ッエンチエル氏も列席する筈なりと

◎京城商議總會

京城商業會議所定期總會は既報の如く十八日午後二時より同所樓上にて開會、出席議員十八名、原田會頭議長席に就き開會、先づ豫算案に對し第一讀會に入り審議に時を費やしたる上結局多數決を以て原案に隨ひ委員附託となり議長指名の下に小谷、古城、天日、金、佐野、林、白石の七氏を豫算審査委員に擧ぐ尚ほ豫算審査委員會は十九日午後二時より會議所樓上に於て開催の事に決せり次に釘本評議員の建議に對し天日、古川、古城三評議員の贊成ある懸案貿易に對する建議案を附議し建議者釘本氏の説明あり之に對し關、西村、韓相龍、天日諸氏の贊否説乃至意見の交換ありしが釘本氏の説く所は懸賞貿易代金請求期日が區々なるは内地にても餘り流行せざる事にて然も此爲めに商店にては殆んど一年中一人掛り切りの有様あり萬一致したる期日あらば經濟上多大の利益あるべく幸ひ昨年末發生せし貿業會なる組織あれば之をして當らしめんには効果勘からざるもあるべし先づ其方法は内地人一般商人間の貿貫に對して其懸賞貿決濟期日を例へば月末として此を示し然る後供給者對需要者(即ち商人が得意間)乃至日鮮人間に及ぼさば然る可しと云ふにあり之に對し西村氏は一般商人と稱するも其取引種類の如何に依りては一律にもなるまじく尚其取引の期日に依り一日に取引せし者も二十日過に取引せし者も皆等しく月末に決濟せんと云ふに於ては又相當困難も生ずべし然も今日に於ては殆んど總て約手を以て是等取引の用に供しつゝあれば此間差當り目立ちたる支障とてもなし寧ろ人の希望は寧ろ商人對需要者間の決濟こそ月末とせん希望なれば愈々決議して實行せんと云ふには又相當調査の要あり委員附託乃至は指名とし度しとの希望を述べ更に韓相龍氏は内地人對朝鮮人間題となれば大に考究する必要あり現に朝鮮人相互間に於ては五日毎に決濟する慣習もあり永き習慣を破りても一定の期限に於て決濟せんとするには多少の困難も生ず又内地人と鮮人間に於けるものは多く約手を用ゐ相互の間に之れと云ふ支障もなく遲々實行する迄には尙愼重の調査を要すべしとの意味にて共に愼重調査を要望し委員附託の希望者多く書記長よりも其内調査に據れる結果の表示あり大體に於て委員附託に意見接近したれども尙一致を見ざりし爲め數分間の休憩を爲し協議の上遂に委員附託と決し議長指名にて關、古城、天日、林、田、金、西村、廣江、釘本、韓以上十氏を委員に擧ぐ因に同會には議長も列席することゝ爲れり尙ほ本委員會は二十日午後會議所に於て第一回委員會開催に決せり之にて議を終り次で懸案の評議員の建議に依る夜學校に關する研究科設置要望の件に關する報告あり午後五時半散會せり

◎在郷軍人分會協議

二十四日午後六時より帝國在郷軍人會京城分會委員會を銀行俱樂部に開催し左の諸件を協議すべしと

▲大正五年四月以降の分會徵收金を全廢し分會員並に有志者より分會基本金の寄附を仰ぐの件(但分會員は階級の何れを問はず資力に應じ幾分の寄附を受くること、有志者より二十圓以上の寄附を受くること、二十圓以下の寄附者は特別會員に推薦せず)
▲分會基本金募集は大正五年五月より施行する件
▲分會基本金は一萬圓とする件
▲分會基本金募集は別に委員を推薦する件
▲分會基本金受領者は朝鮮銀行内在郷軍人に依賴の件
▲分會基本金受領監督者は前五項に同じ
▲憲兵分隊内に於ける分會事務所は京城府廳内に移轉の件
▲京城府廳内へ分會事務所移轉に就ては委員たる誰も事務を依賴する件
▲府廳内に分會理事一名を置き庶務を處理せしむる件
▲府廳内民籍係並に小使に對し應分の報酬をなす件
▲朝鮮銀行内に幹事一名理事一名を置く件
▲四月分會總會に際し評議員改選に付府部より理想の人物を推選し總會前に分會に交渉し置く件(但陸海軍の階級の何たるを問はず社會の各階級を通じて推選をなす件)
▲分會外に地方名家に對し分會の顧問役を依賴する件

◎仁川倉庫組合設立

仁川穀物協會員有志の發起に係る仁川倉庫組合設立の件は十七日仁川鮮樓に於て設立發起人會を開き凝議の結果愈々設立する事に決定し設立委員及役員の選擧を行ひたり

◎李堈公殿下歸京

金泉へ赴き居たる李堈公殿下は十七日午後二時金泉發同夜九時南大門著歸京せり

◎瑞典公使通過期

駐日瑞典特命全權公使ワレンベルグ氏は十九日夜釜山上陸鮮滿直通列車にて二十日午前六時五十分著同七時十分發南大門通過北京へ直行の筈

◎日支貿易不振

▲政治上の恐怖心 は一般に……略簡易にし金錢を敗せざる樣儉約し……の少からざる由なるが北支及び滿蒙……き迷信行はれ物價下落せず益々騰貴……て獲利を計らんとするもの多く大豆……と競爭的に貨物を……大豆雜穀には入九分迄も貸出す風なれば彼等支那……對する正金、正隆、朝鮮其他各銀行の貸出し額は殆んど未曾有の巨額に

(新任) 警部 ……

眼と神經衰弱

醫學博士 前田珍男子先生新著

神經衰弱は多く眼より來る然れ共其關係に留意する人少し茲に著者前田博士は新たに發明する所あり高田文相・村井弦齋氏等知名の士にして其診療を受け快癒せる人枚擧に遑あらず本書は實に其關係を詳説し神經衰弱の新しき療法を述べたる者神經衰弱に惱む人は速に本書を讀んで病根を一掃せよ

定價七十錢 郵税六錢 三六新型 布金文字入總

東京京橋(振替口座三二六番) 發行 實業之日本社

●特價發賣申込の好時●

青坡吉村君潔著

銃獵之趣味

見!銃獵の手引=多獵を希望せん人=朝鮮の獵地を知らんとする人

銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損う者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處なり是は其の銃器を悉知せざるが爲なり

本書は銃器の如何なるかを説き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せ説きて詳悉せり

獵犬の使用と善惡を説き

朝鮮の好獵地へ案內する處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり

定價四十錢 特價金三十錢(郵税を除く)

發行所 京城太平町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社

歐洲戰爭實記

大正五年初刊 第四十九號 (一月十日發行 定價廿錢郵税二錢) 東京本町 博文館

歐洲大戰全局地圖 大戰の現況を指すが如き新案の鳥瞰圖

■英國主力艦隊訪問記……米國記者 パルマー
△大成の後に來るものは恐慌か繁榮か……米國 プライス
△上官の虐待を憤れる獨逸兵士の日記
■英獨海戰の將來と戰局の大勢 海軍中佐 日高謹爾
△撒爾に虐殺されし博愛家カヴエル孃……英國 コナンドイル
△大成に於ける英國の成功
■露國へ軍需品供給の途を開いた顛末 大倉組 大倉發身

◎勸業債券 貯蓄債券 特別高價買入

○各債券左表の相場にて御買取可申候に付御賣却の方は至急本社宛債券御郵送被下度著次第御送金申上候

(一月十一日迄)

種類	買取値段
五分利付 四、五、六、四二	八三〇
八、一二、一四	八三〇
七、四一、五五	八四〇
九	八五〇
一〇、二一、三	八二〇
三八	八二〇
三九	八四〇
四三	八七五
四分五厘利付廿回	[illegible]
九、一七	六九〇
六、二一〇	七〇〇
八、二一	六八五
九	六六五
三	七〇五
五分利付十回 六、三〇	九二五
七、三三	九二五
八、三一	九六〇
九	九五五
四四、五二	九五〇
四七	九四五
四八、五四	九三五
四九	九八〇
五〇	九八〇
五八	九七五
六三	九六五
四分五厘利付十回 三	八六五
三七	八四〇
三分六厘利付十回 三	八四五
四、二二五	八三〇
い、ほ、へ	四七〇
ろ	四六〇
は、ぬ	四七〇
に、か	四八〇
と	四〇〇
ち、り	五一〇
ぬ	四九五

東京市麴町區内山下町(日本勸業銀行構內) 株式會社 勸業債券月報社

振替口座東京十八番 電話新橋二一九番 電話三三六三番

月給 日給 立替 貸金

黄金町通櫻井町入軒西四ツ角 元祖 博多屋本店 電話二一三一番

[illegible]輸出入共に不振にして當業者は何れも閑散に苦みつゝあるが今之が原因に就き聞く所に依れば[illegible]べしとは支那人間に傳播せられたる共通説にして衣食住とも成るべく省[illegible]支貿易と重[illegible]を置ける大阪神戸の商人は昨年之が爲め手違ひを生ぜるも[illegible]といふに是は不思議にも政治上の恐怖心と正反對に彼等支那人に都合よ[illegible]其他雜穀を主とし[illegible]に至る迄支那商人は[illegible]る可く之を買占め置き[illegible]集散地には[illegible]なり又開原、鐵嶺、長春等

▲各銀行出張所を開設し殆[illegible]向ほ一層幇助增大せらるゝ次第なり現に奧地との爲替取組の如き送金爲替は近來全部現金輸送を要し奧地に[illegible]

東京大相撲

（十八日午後東京支局特電）

▲五日目の勝負

琴ケ浦（ひき）國見崎　稻葉嶽（つり）緋縅
近江富士（ただし）柏戸　紅葉川（きり）朝綠
源氏山（はたき）玉の川　逆鉾（ただし）眞砂石
鳴門洋（やり）稻の穗
寒玉子（つり）紫雲龍　小常陸（きり）玉椿
岩木山（預）千年川
九州山（休）浦の濱
釋迦嶽（うはて）大蛇潟
綾川（ひねり）鶴渡　西の海（おし）石山
鳳（あびせ）（ただし）兩國

▲中入後

岩木山（より）千年川　梅川（きり）苅藻川
宮城山（きり）櫻川　八甲山（より）大の川
金の花（より）四海波
宇都宮（くびひねり）黑瀨川
玉手山（うはてなげ）栃木山
對馬洋（だし）土州山
大錦（より）大鳴門

緋縅●に稻葉嶽●は左四つに渡るや直ちに吊り出して稻の勝■近江富士に柏戸は近江諸差にて押し進み柏土俵を廻つて逃ぐるを追ひ詰め押し倒して近江の勝■朝綠●に紅葉川●は紅葉例の如く烈しく突つ張るを朝綠早く捌いて其の左手を手繰り四つに渡らんとしたるが紅葉嫌つて突つ掛け突き除け無二無三に突つ張れば朝は受け流しつゝ左手を紅葉の頸に捲かんとしたるも紅葉早く拂ひ除け右筈に當つるや疾風の如く正面溜りへ押し切つての勝は非常の大相撲なりき■源氏山●に玉の川●は源氏不相變手甲砂を附けて仕切り直すこと數回玉も劣らず仕切り直し漸く立ち上るや玉例の通り下手に入らんとするを源氏叩きしが玉殘して廻り込み股の下を潜らんとするをトンと突き放して源氏の勝■逆鉾●に眞砂石●は眞砂突つ張り進むを逆土俵際に耐へて反對に突き進み遂に突き倒して逆の勝■鳴門洋●に稻の穗●は鳴門素早く二本差しとなれば稻それを閂に極めしが解いて左を差すや鳴門吊身に寄るを稻廻り込んで反對に寄り切る刹那ウッチヤつて鳴門の勝

■紫雲龍に寒玉子　寒の突つ張るを紫雲捌いて二本差しとなり寄り切らんとするを寒上手二本を引いて强引に吊り出しての勝は元氣旺盛なり■岩木山●に千年川●は岩木の突つ張らんとするを千年押へて左を差し肩透しを引きしが岩木殘して突き除け突つ張らんとするを千年然はさせず其の儘突いて寄り切らんとするを岩木捻りを見せて土俵を割る際千年の體も落ち軍扇は千年に擧りしも物言附きて預りとなる■小常陸●に玉椿●は小常の突張るを玉捌いて受け流しつゝ左を一寸覗はせ肩透しを引きしが小常殘して飽まで突張るを玉土俵を廻つて殘しつゝ敵の右手を引掛け横より突いて押さんとしたるが小常又殘して廻り込み遂に押し切つて勝■九州山●に浦の濱●休み

■釋迦嶽に大蛇潟　釋迦立ち上りさま二本差しとなれば大蛇も小手に抱へ込み小手投を打たんとするを釋迦殘して寄り進み大蛇土俵を廻はらんとするを追ひつめ下手投げを打てば大蛇土俵を割る■綾川●に鶴渡●は鶴諸筈にあて押さんとする出鼻を綾首投げに行きしが鶴殘すと共に飽まで押さんとするを捻りて綾の勝■西の海に石山は石突張るを西受けて其の左手を引張り込むや右手に捲いてぐるり廻つて左筈を押し切る

■兩國に鳳　當日第一の呼物の好取組なり兩立ち上り樣鳳の右手を引掛けんとするを鳳突きのけ左を差せば兩も亦左を差すや鳥渡左足を搦んで下手投を打ち來るを捲き上げ浴せ倒して鳳の勝は横綱漸く芽を出したり

▲中入後

■梅川●に苅藻川●は梅突張つて左を當て押し切つて勝■宮城山●に櫻川●は二本差し一氣に寄り切つて宮城の勝■大の川●に八甲山●は大の突つ張つて左を差し肩透しを引くこと二回八甲殘して突き合ひ叩きしも大の殘して小手投を搦め合つて押し合ふ間右四つとなり押し切つて八甲の勝は面白き相撲なり

■宇都宮に黑瀨川　當日呼物の好取組の一にして双方元氣同志本紙懸賞豫想の勝負なり宇都宮二無二突つ張り叩くこと三回黑瀨殘しつゝ突き合ひ四つに渡らんと焦るを宇都宮左を差すや大きく打つたる捌ひ投げ綺麗に極つての勝は大喝采也■四海波●に金の花●は鳥渡突き合ひ左四つとなるや寄り倒して金の勝

■栃木山に玉手山　力と技との何れが勝つべきか頗る興味ある好取組なり喝采裡に立ち上り左四つに渡るや栃木が只一突きに寄り切らんと一杯に出るを玉手上手を取るなり曳と一聲叫んで打つたる上手投見事に極り玉手の勝は水際立つて鮮かにて滿場大喝采暫しは鳴りも止まざりき■對馬洋●に土州山●は土州懷に飛込み右を當て押し進み諸差しとなつて釣り出さんとするを對馬吊るのは此方が本家だと許り兩腕を引いてぐいと拔き上げ高々と捧げ出して對馬の勝

■大錦に大鳴門　當日の好取組なり贔負々々の掛聲盛んなる中に双方念入りに立ち上るや錦敵が突つ張らんとする機先を制して飛び込み樣二本差して出足早に寄り進めば鳴門仕舞つたと土俵を廻つて逃んと反身になるを透さず寄り切り錦の勝にて打ち出したり

▲六日目の取組

苅藻川―緋縅　敷島●―逆鉾●　紅葉川―江近富士　小錦―宮城山
寒玉子（玉の川―八甲山）眞砂石●
源氏山（大の川―鳴門洋）朝綠●
柏戸（鶴渡●―小常陸●）大鳴門（櫻川―岩木山）
四海波
金の花（土州山―大錦●）宇都宮　鳳
對馬洋　綾川

▲中入後

玉椿（稻の穗●―釋迦嶽）黑瀨川（石山―兩國）
龍ケ崎
千年川（大蛇潟●―紫雲龍）九州山　玉手山
栃木山　西の海

▲浦の濱休場

浦の濱は四日目兩國と立合ひの際府を痛め休場を届け出でたり

●滿洲の農民饑餓に迫る

大擧縣廳及び富豪を襲ふ

昨今滿洲には各地に饑餓に迫れる農民の暴動續發し頗る不穩の狀あり最近岫巖縣管内李樹溝に於て村民租税に反對し大擧縣廳に押寄せたる事實あり又遼安附近にては五百餘の農民富豪劉某方に押寄せ穀類、器具等を掠奪し武城附近一帶の農民も饑餓と窮乏との爲め城内に押寄せ商店を襲ひ亂暴を働けり支那官憲は之を奈何ともする能はず彼等は帝政の爲め重税を課せられ然も吾等の饑餓と窮乏を救はさる政府には反對せざるを得ずと稱し居れり何時匪賊も蜂起の兆あり人心恟々たり（大連特電）

●氷のやうに冷い望遠鏡を眼に

觀測所員冬の活動＝寒夜の任務

仁川市中で一番高い海拔三百米突もあらうかといふ應峰嶼上で凛烈骨を削る樣な嚴寒と戰うて冬の活動に就て居る觀測所員の勤務は實際人の知らない

■苦心と努力とを要するのである仁川觀測所は人も知る去る明治三十七年前所長和田博士が命を帶びて渡來し現在の場所に建設したる規模壯大なるものであつて地方に存在する測候所とは凡ての點に於て雲泥の差があり全く比較出來る樣な性質のものではない現在内地の

■中央氣象臺と陸前水澤の緯度觀測所を除いては朝鮮は勿論内地にも外にない完全な氣象觀測所で今や海外諸國に於ても重要視せられて居る其れ丈我半島の誇りとするに足る唯一の特別機關である觀測所の主なる任務は氣象觀測大森式微動機によつて地震の觀測其他雨や雪の量を計つたり其模樣を調査したり風力空中の濕量壓力

■地中の温度の試驗など數へて來れば實に限りがない程仕事が多い目下朝鮮各地に於て放つ午砲は皆仁川觀測所で觀測した標準時を京城郵便局に電鈴裝置を以て告知し同局から地方へ電報することになつて居る尤も中央氣象臺からも京城局へ通知が來るさうであるが距離が餘り遠隔な爲め

■多少の差異が生ずる恐れがあるから觀測所で計つて居る時間は最も正確なもので殊に仁川市民は正確な中にも正確な時間によつて活動が出來る譯である其處で標準時は怎うして計るかといふに天文係の人は毎日日沒頃即ち星が現はれる時分から夜中の十二時一時過迄

■天井總硝子張りで開閉自在の觀測室に這入り星の觀測と云ふのをやるが其れは仁川の眞上にある子午線を星が通過する時間を望遠鏡を据つて觀測するのであるが零下何度といふ樣な寒い冬の夜に火の氣も無い一室に閉ぢ籠つて氷の如く冷たい望遠鏡を長い時間握り詰めて居るのであるが傍らで人の足音がしても直に差異ひが生ずる樣な

■微妙な機械によつて觀測するのであるから最も細心の注意が拂はれ此場合係員の腦裏には『任務』といふ二字以外更に何等の印象をも止めず全く無我の境に入つた樣なものである何秒といふ瞬間には寒さも感ぜず足先や手の感覺も判らないさうである又風力の觀測をやる時は怒號して吹いて來る

■冬の冷い風に襲はれながら風力臺上の人となつて唯風の速力だの怎ふいふ風が何處から怎ふいふ工合に吹いて居るといふ樣なこと迄調査するのであるが他の事務官廳なぞと違ひ一つ間違へば折角の貴重な材料が全然零になつて了ふのであるから任務に從事中は例令一擧手一投足と雖も

■猥りにする事が出來ない程重大なものである世間の人は日中が活動の時であるが觀測所の係員は之と正反對に晝夜勤務するのであるから市中の人が寒い寒いの持ち切りで温突に寢そべつたり火爐にもぐり込んで居る頃が之等係員が零下何度といふ樣な手も足も覺えない樣な

■嚴寒と戰うて活動する時であるが世人が温い長夜の夢から醒めて己が其の業務に就く頃には係員は辛い夜中の勤務を終へてホッと家路に辿るのであるが如何に任務の爲めとはいひながら此寒空の活動振りに對しては同情と感謝をせずには居られないのである

●不足を告げる爆發藥

西朝鮮地方に最も需要多い

朝鮮の名鑛山や鐵道々路工事なぞに用ゐられるダイナマイトは昨年の十一月頃から漸次品薄となり昨今は京城市中では一函五百發入七八十圓から中には

■四百圓の飛切値段まで出來た、これはダイナマイトの製造所たる英國グラスゴー市ノーベル爆藥會社の製造能力が減じた譯でも何でも無いが唯だ戰亂以來世界に於ける商船の拂底と共に船繰の惡くなつた結果である、海運界昨今の有樣では假りに

■紐育から送られる貨物にしても約定より約三箇月位遲れるのは普通となつて居り昨年十一月中に到着すべきものが本年一月頃になつて屆くといふ有樣で別けて危險なる爆發物の如きは運賃の如何に拘らず嫌はれるのは止むを得ない

■朝鮮では三井物産と仁川のタウンゼント商會が代理店となつて居るが何分にも全部の品を舶來品に仰いで居ることとて暫く舶來品の品切れには各地共非常に困つた樣子である、併し此の一月末と二月下旬には三井物産に宛て、英國からの入荷がある上猶ほ其の後の輸入品も引續き到著する筈だから今後は

■左迄心配する程の事もなからう、昨年十一月以來品切の原因は三井から註文した品を十二月上旬巴奈馬運河經由で廻送する筈の處途中で運河が崩壞する騒ぎが起る其の間種々なる故障を生じた爲めであつて又此方から紹介しても獨逸の潜航艇を廢れて

■出帆日船名などの報告を許さぬ點もあつたのであると然らば日本内地に於ける製造力を見ると僅かに陸軍省の砲兵工廠で日本内地に需要するダイナマイトの二分の一しか製造して居らず朝鮮へ供給するなどは思ひも寄らぬといふことであつたので[illegible]

■ダイナマイトの不足には各方面共隨分弱つた模樣である而し其の間を辛うじて通り拔けたことであるから將來は憂慮をはなからうといふ、又朝鮮に於けるダイナマイトの需要は何うしても鑛山地の平安南北道を最とし一箇月平均四五百箱位は使用される、次いで鐵道々路の工事用としては目下湖南線の沿線と新安州、鴨綠江上流間の安滿道路とが主なるものであるが月末になつて在庫品潤澤となれば何れも需要を充たすであらうと

●全國を荒したる兇賊捕はる

品川署の手にて

九州より始め全國に亘りて神出鬼沒恐るべき强盜殺人の大罪を犯し巧みに踪跡を晦まし本月八日には佐賀縣下に於て佐賀署の三木、藤田兩刑事に重傷を負はせたる稀代の兇賊原籍佐賀縣佐賀郡北村大字中山無職九十番地鮎川賴作(三)は東京品川署の手に逮捕され取調べ中なりしが十八日大阪より出張したる木村刑事兩部長これを護送し歸阪せる途中梅田驛に下車せる同人を見るに普通と異ならざるが如きも嚴重なる警戒の中を更に惡びれたる容子もなく平然として降り立てる樣は流石に稀代の兇賊と思はれたり（大阪特電）

●短銃强盜

百餘名の警官に包圍され短銃を亂射

十八日午前四時大阪心齋橋筋片山洲八方へ二名の短銃强盜闖入し家人を脅迫して金員を强奪し逃亡したり警察にては急報に依り直ちに非常線を張り警戒中賊は百餘名の警官に包圍されて短銃を亂射したるも遂に逮捕されたるが其の際山本巡査負傷したり（大阪特電）

●本溪湖小學校燒失す

十七日午前本溪湖滿鐵小學校に失火あり全建築の七分通りを燒失し同十時鎭火したり（大連特電）

●巨鯨を捕ふ

此の程仁川水產會社へ長さ二十間以上もあらうかといふ長須鯨を持ち來りしものあり此の鯨は二三日前或る漁夫から忠淸道『カンシン』といふ處の海岸へ追はれ折柄引潮の際とて逃ぐるにも逃げられず迂路々々し居るところを見付け出した附近の鮮人漁師は早速捕へしを同地の内地人某が買取り水產會社に持ち來りたるものなるが斯くの如き巨鯨は仁川にては珍らしく水產會社附近は人の山を築きをれり

●新町で時計

全南濟州島生れ京城本町四丁目居姜斗元(三十)は一月十七日午前十時頃新町に於て揩軍劉東烈が金側懷中時計一箇（卄圓位）を拾得し遺主を探し居る模樣あるを見て直ちに近づき是れは自分の遺失品なりと欺きて該品を騙取して携帶し居れるを本町署の刑事に發見されて引致せらる

●銅線を竊取す

京城貫金町二丁目金應莊方居勞働前科二犯金元植(三)は一月二日午後五時頃龍山漢江通り京城電氣會社出張所構内倉庫に忍入り銅線五貫目入一叺を竊取したるを發覺取調べの結果京城地方法院に於て懲役二年の處分を受けたり

●賭博犯の處罰

山口縣阿武郡萩町當時京城黃金町一丁目中島道助(二八)大阪府北河内郡住道村當時黃金町二丁目森本喜三五郎(三三)京城内鑑洞煙草商崔明根(二八)の三名は舊臘二十八日正午頃より七時頃迄及び三十日午後二時頃より數回に亘り鐵路一丁目金基煥方にて花札にて『カブ』と稱する博奕を爲したる事發覺し本月十八日京城地方法院にて各罰金三十圓の判決を受けたり

●主人の金を竊む

京城本町三丁目姿洛磐(三)は同町三丁目岩永方に雇はれ居る中昨年十二月二十八日午後二時頃家人の隙に乘じ主人の所有金百七圓八十五錢入の財布を竊取し其の後發覺取調べの結果十七日京城地方法院にて懲役六箇月の處分を受けたり

●料理屋組合新年宴

京城第一種料理屋組合主催の新年宴會は十八日午後二時より南山町松葉亭に開かれ京城券中券等置屋その他の關係者無慮五十名出席預券藝妓の粹を拔きたるもの多數酒間を斡旋し餘興には福引並びに京城電氣會社より社員出張瓦斯應用炊事の實演あり頗る盛會なりき

●廣江煙草の半額券

廣江商會にては愛煙家各位を優待する爲め大評判の明治町浪花館へ東京落語三遊派幹部連一行及び有樂館力士浪花節桃中軒雲川一行兩興業へ同商會製品金剛一個に付特等半額券一枚しらぎ一個又は百眞票一個を廣告面の小賣店にて求めらるゝ方には一、二、三等の各等の半額券進呈する由

●警察官の移動

此程地方警察官中に左の移動ありたり
新義州警察署長警部　佐野太吉郎
補南川警察署長

朝鮮平壤南門町
脇坂文鮮堂
圖書雜誌、和洋紙、文房具、和洋帳簿、理化學機械、内外雜貨類、博物標本、國定教科書販賣所、體育運動器具、朝鮮總督府編纂教育用品一式、教科書販賣所
電話番號二四番　振替京城九二番
支店　平壤大和町電話一四三番

▲見よ！時代要求の珍書出でたり好評嘖々
鴨田脩治著
新眞婦人主筆西川文子女史序　前判事法學士荘田三二郎先生序　醫學士佐々木金三郎先生序　ドクトル鈴木瀛先生跋
●少く産んで多く教育せよとは本書の主眼なり。今や避姙の研究は既に一實行時代に入りて成績顯著也是れ世界を風靡せる生活難救濟の一大根本策一讀あれ
產兒制限論　一名避姙の研究
定價五十錢　郵稅八錢　小包料入　美裝
第二十版
●陸軍砲兵曹長與藤久登著
長身肥滿法
●郵券廿五錢送附あれば直に送本す
本書によれば低き人は高くなり　やせたる人　病後產後其他生れ付の人にても忽ち肉付强健となる不思議の療法なり世間短軀又は痩せて悲觀せる方は是非一讀あれ
●發行所　東京本郷丸山福山町四番地　日本藥學協會

い病で困る人
永年難治の胃病にて御困難の方は速かに往復端書で申越あれ効能眞に偉大なる家傳の奇藥を詳報す
兵庫縣美嚢郡淡河村下村　藤本初三郎

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

資本金壹百萬圓
政府貸下金三十二萬九千二百圓
農工債券發行高八拾萬圓
株式會社　漢湖農工銀行
京城南大門通一丁目
銀行長　白完爀
支配人　遠山熙
電話　五二四番　五二七番　五五五番
支店　開城、春川、江景、鳥致院、太田、公州、鐵原、淸州、忠州、論山
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

醫化學諸器械
K
仁川本町　北島藥店
京城本町永樂町角　北島藥店支店
電話三三四・振替京城六七番　電話二六一番

卸賣藥種商

内科　小兒科　入院隨意
京城明治町（元善隣學校隣）
中島醫院
電話三七八番
院長　中島貞信

千生瓢 (101)

須藤南翠作　筒井年峰畫

死戰(三)

盛政はそれと見るより、馬を陣頭に前ませて、欣然として兩將を迎へた。

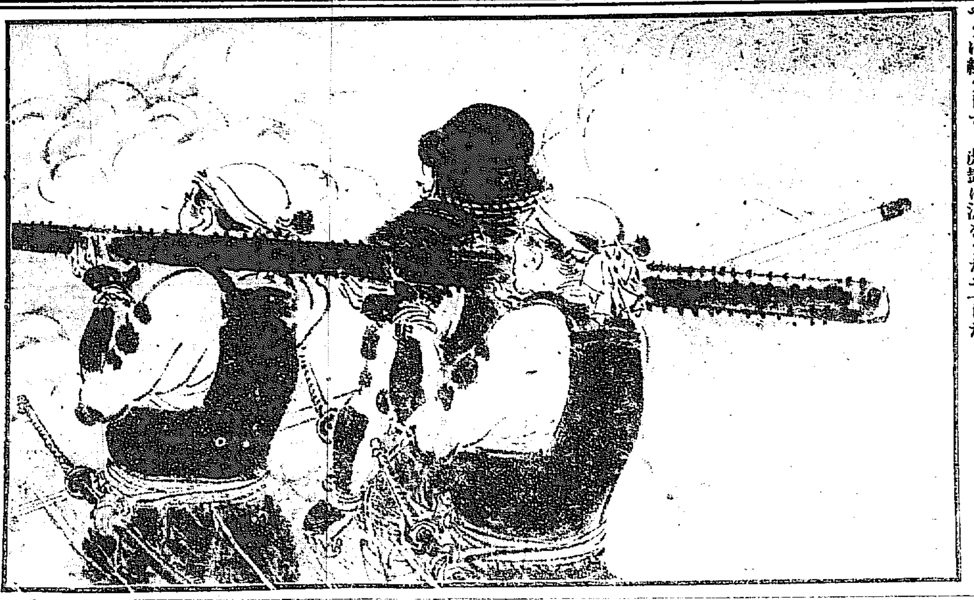
『やあ、思ひ寄らぬぞよ、權六。本陣も手薄ぢやらうに、能う加勢下された。但馬、忝なうおざるよ』

百萬騎をも睥睨する巨眼を、鐶のやうに瞪らして、虎髭に波をうたせながら、歡び迎ふる玄蕃允の意中を察すると、勝久も但馬守も、胸が一杯に充ちるやうであつた。

『意外の御苦戰、宗徒の大將分も、過半は討死を遂げ申したげ。匠作殊の外御身を案じ、我々兩人に御迎へを申し付けておざる』

勝久が先づ口を切つた。但馬守も之を承けて、

『難儀の大敵を切り開き、三左衞門殿の滯りなく、御兄弟一つになられたのは、即ち天運の未だ傾かざる證據おざる。早々御手を引纏めて、本陣に合され、會稽の恥を雪ぐべき一戰思し立ちなさせられい』と、意氣壯んに說き立てる。



玄蕃允盛政は漸次に寄せ來る敵軍を指ざして、

『見られ、彼れぢやよ。進むも難儀退くも尙難儀、玄蕃一歩退かうなら彼の大軍平押に追ひ縋つて、本陣に雪崩れかゝり、唯一揉に揉み潰すは必定ぢや。兎にも角にも備を固めて當の敵は拂はねばならぬわ』と迫砕した。

『仰せまでもおざらぬ、進退ともに備なうて、叶ふべきものでない。攙六殿も淺見氏も、それに不承がおざらうや。憚りながら兵左、例の如く配陣の仕つる』と、神波兵左衞門は二言と他に口を開けさせず、咄嗟の間に堅實の陣備へを立て了つた。總勢僅に三千に足らぬながら、面々一人當千の勇氣を持つて、敵を見て怯まぬ處誠に賴みある武士と思はれた。此時原彥次郎元治から使者が來た。而して口上を以て言はしたのだ。『只速かに某と共に引つ回して、一合戰致されたい、某お先仕つるでおざらう。是れ九死に入つて一生を得るの戰法おざる』

『盛政委細聽き了つて、御尤おざる。玄蕃允御同心申す』と答へて使者を返した。彼の使者の本隊に歸るか、歸らぬかに盛政は旗下を以て引き回した。勝に乘じた敵は、心驕つて備へも立てず、我一に功名手柄を心がけて、列を亂して蹈ちかゝる。盛政きつと見て、

『笑止の沙汰ながら、敵とあるを討たぬ法はあるまい。どれ、玄蕃が一番當てくれう』と言ひもあへず、例の鐵棒をうち振つて、群がる敵へ割つて入る。

呼鳴を發してうち振る鐵棒には、一振毎に多くは七八騎、少きも二三騎は薙ぎ倒されざるはなく、此勢ひを以て四角八面に馬を驅り、水車の如く振り廻したので、忽ち敵四五十騎打ち倒され、勝誇つたる上方勢ながら、むり〳〵と後退して、復進み來る勢ひはなかつた。玄蕃允は散々に敵を鏖まして、鐵棒を從者に渡して其身は扇をつかひながら

『誰そある。三左衞門の手へ急ぎ參らう』と聲をかけた。旗下の一騎士、謹んで命を聽く。

『其方三左衞門尉が手に參つて、勝政にきつと申せ、早々是れまで引回し申さるべしと』

『ハッ』

騎士が馬首を回らさんとする時、

『あ、いや、暫く』と權六勝久が押止めた。

『何故止める勝久。軍機が逆する、火急の今ぢや』

『先づ暫らく、勝久とても軍機は能く存じ申す、先づ〳〵其お心を靜めさせられい』と直々と馬を寄せた

玄蕃允は兩眼を怒らしながらも、流石に惡聲は發さなかつた。

『物に狂はせ給ふかや、御兄弟此處に於て、討死を遂げ給ふとも、此合戰利運とは相成り申すまい』と言つて勝久は落淚した。

賣却廣告

一京城壽町四番地
一宅地四百七拾坪
右地上ニ建設
一木造洋風瓦葺二階建本家壹棟
建坪四拾壹坪參合壹勺
一附屬木造瓦葺平家壹棟
建坪拾壹坪武合六勺
一木造瓦葺平家壹棟
建坪參拾武坪武合五勺
右賣却候ニ付御希望ノ方ハ來ル二十五日迄ニ本町一丁目京城商業會議所內元京城日本人商業會議所清算事務所ヘ御來談アリタシ
大正五年一月十八日
元京城日本人商業會議所 清算人

朝鮮總督府
一米利堅松角材四本
右購買ス詳細ハ一月十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

賣却 龍山陸軍倉庫
一等碎米 六拾五石武斗五升
右一月十九日以降ノ朝鮮官報ヲ見ヨ

大正國民讀本 第三版發行 定價七拾錢
讀書
ノ便ヲ計リテ市內發行圖書雜誌ヲ無送料手數ニテ取次ス(代金引替小包ハ御斷)振替東京七八四番
東京市小石川 大日本教育會

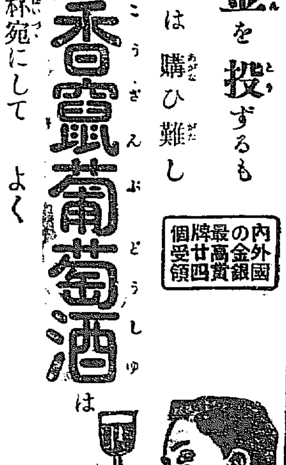
家傳靈藥 ぢの藥
痔痛退散 痔瘻快癒
●痔疾一切重症の●脱肛●痔瘻に●痔核等の症狀に其効顯著なるは家傳良藥の著者諸氏の書冊を呈す
郵券封入申込有ば全國患者治療法の書冊を呈す
ご病原理由自宅治療法
●本舗 東京京橋區 小松盛林堂
●各藥店に有 小松痔藥と御示命乞ふ

天盃 拜受の光榮に
又も芽出度い年重ね
手係も揃ふて國産の
品質本位
花王石鹸に
體を清めた肌の色艶
活々と若やいだのは
先づ新春の
吉例々々

花王石鹸製造元 關東一手販賣代理店 東京馬喰町 長瀨商會
花王石鹸關西一手販賣代理店 大阪安土町 大崎組商會

百萬金を投ずるも
健康は購ひ難し
蜂印香竄葡萄酒は
朝夕一杯宛にして よく
身体の健全を保ち精力の増進を來す
何となれば 無限の滋養と其美味とは
すべて血となり肉となり力となる

內外國の金銀最高賞牌廿四個受領



發賣元 東京本町 近藤利兵衞

商況

大阪三品 (十八日後場)
一月限 一二九四〇　[illegible]
[illegible]

大阪期米特電(十八日)
五月限 二二四、四〇　二二四、四〇
六月限 二二四、五〇　二二四、七〇
の十五圓と寄付十四圓九十五錢と押したるも無味閑散にして引際東京高を入れて漸く十五圓〆四錢と戻し結局一錢と止めたり

仁川米豆取引所
▲十八日寄付 大阪前場十四圓九十八錢寄付 [illegible]
[illegible]

賣六百石買四百石賣⑪三百石買五百石買全九百石買三百石買⑪三百石賣三六百石賣五百石買⊕九百石買

▲後場釘付
大阪の下寄を受けて十一圓四十一錢と寄付後四十一錢と押し四十一錢と [illegible]

入氣も[illegible]迷ひ生じ來り澁みたる商內行はれず新制[illegible]の[illegible]である

△本日の現物界
極忍預道五圓四十錢五十錢 [illegible]
[illegible]

十八日の三月限
錢三十九錢⑬三十九錢四十錢一錢⑬四十錢⑬四十錢三十九錢四十錢三十九錢四十錢三十九錢
寄付 十一圓四十一錢 [illegible]

平均値段
一節 十一圓四十一錢
二節 十一圓四十一錢
三節 十一圓四十錢
四節 十一圓四十錢

長箭捕鯨成績
江原道長箭港に於ける東洋捕鯨會社鯨漁開始以來の成績は捕獲數百十頭に達し空前の盛況を示したれば同地附近は頗る殷振を極めつゝありと

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 立神丸 一月 日後五時出帆
○元山清津浦鹽行 立神丸 一月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 一月 日後五時出
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 一月 日後十時出
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 一月 日後九時出
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 一月 日後六時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天㒵丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山埠頭立(?)町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆
阿波國共同汽船會社命令航路 芝罘、大連行
第一共同丸 一月 日後二時入 一月 日前九時出
御郵便御取扱に大連にて青島行定期船に連絡し芝罘に寄港（?）往復共に貨物取扱仕候
第一阪鶴丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 一月 日後九時 一月 日出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行(元山出帆) 一月 日前八時 一月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目(電話一〇八番)仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部(電話二四四七番)
京城取次店 南大門電話(二六八、二〇七) 河村運送店

日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行
相模丸 一月廿八日 正午出帆
竹島丸 二月四日 正午出帆
淡路丸 一月十九日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

本社電話番號
當分の間構內接續電話を廢し凡て局直通電話にて左の通り御呼出被下度候
編輯用 一二四五番 一二三五番
營業用 一二二四番 三六六番 六〇番
發送用 二六一六番

大阪屋號書店 新刊書御案內
書名 著者 定價
◉詩傳乃木大將 兒玉花外 八〇
◉朱葉集 晶子 一、〇〇
◉父の書簡(増訂新版) 蘆川忠雄 一、〇〇
◉白隱禪師言行錄 高橋竹迷 一、〇〇
◉福澤諭吉 山中王堂 一、〇〇
◉達磨 松本文三郎 一、二〇
◉獨逸皇帝大野心論 樋口麗陽 八五
◉金 そら云飯田旗軒譯 一、七〇
◉悲しき思ひ出 岩下小葉 四〇
◉平和か鐵血か 七十名家論述 一、二〇
◉現代世界の變遷と將來の發展(挿六冊) 高島驍吉 七、五〇
◉修養一ケ年 岡田 五〇
◉家庭と學生 大町桂月 三五
◉眼と神經衰弱 前田珍男子 七〇
◉瓦斯發動機と瓦斯力發電所 永雄節郎 二、二〇
◉機械工學要覽 八田志津馬 一、三〇
◉貸倒豫防貸金回收の秘訣 花川[illegible] 九〇
◉改正戶籍法解說 繁山保吉 三、八〇
◉假名貞觀政要 民友社 一、〇〇
◉現今名家恭戰 卷の二 一、〇〇
◉新撰圍碁全集 鈴木爲次郎 一、〇〇
◉蘇峰文選 民友社 特二、五〇
京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七三

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵税本社負擔
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

大阪商船仁川出帆
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)同盟諸船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
×溫州丸 一月廿三日 午後五時出帆
×天智丸 一月廿六日 午後五時出帆
×汕頭丸 一月 日
○木浦、釜山、長崎行 ▲は鎮南浦に寄港
×安東丸 一月廿五日 午後二時出帆
▲城津丸 一月 日 出帆
○大連行
×安東丸 一月廿一日 午後二時出帆
城津丸 一月廿八日
◉大阪直行 天佑丸 一月 日 後五時出帆
○群山、釜山、橫濱行
△愛東丸 一月十九日 午後四時
△潮州丸 一月廿七日 出帆
○大連直行
△潮州丸 一月廿三日正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦鹽不寄港
久丸 一月廿六日 午後二時
北丸 一月十九日 出帆
▲大智丸
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
新商丸 一月 日 午前四時
安平丸 一月廿六日 出帆
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前迄に御乘船相成度候
○×印は一等客室の設備なし△印は[illegible]
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番 二二〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番
中國四國沿岸各港行乘客に對し當分の間門司迄一割門司より五割引を以て連絡切符發賣仕候

朝鮮郵船
京城南大門驛前 京城商客取次店 松原運送店
鐵道及汽船と荷客運輸の連絡あり本社支店出張所代理店荷客取扱店に御照會を乞ふ
本社 電話長一九五二番二三一番
○全羅丸 一月廿三日
○京畿丸 一月二日
○黃海丸 一月廿七日
○成鏡丸 二月六日
釜山發 （何れも釜山各港寄港雄基間）
○總城丸 一月廿四日
○昌平丸 一月 日
○鎮城丸 二月一日
○初鷹丸 一月廿二日 元山發（元山より各港經由雄基行）
○平壤丸 月 日
○忠清丸 月 日 元山發（城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司）
○永興丸 毎月廿八回 元山發（北久床、五里浦行 又は長崎延長）
○盈德丸 一月廿二日 釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行）
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 (釜山浦項)發（長生浦、方魚津寄港）
○三浦丸 一月廿一日 釜山發（長承浦、統營、巨文島、濟州島寄港）
○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 毎日 釜山發（各港經由麗水行(三日目一回木浦行)）
○順天丸 三日目毎 木浦發（各港經由麗水行麗水より釜山行に接續）
○慶興丸 一月廿三日 木浦發（各港經由濟州島行(四廻)）
○公州丸 一月廿一日 木浦發（南多島海列島(月三回)）
○公州丸 一月 日 木浦發（各港經由濟州島行(東廻)）
○金州丸 一月廿五日 仁川發（海州經各港經由、德洞又は白翎島行）
○江原丸 一月廿六日 仁川發（芝罘、大連、青島行）
○麗水丸 一月廿三日 仁川發
○晉州丸 一月 日
○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發（江華島、桐浦島、海州行）
○平安丸 一月廿四日 群山發（住航大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、木浦、群山行） 若松發

尼崎汽船仁川出帆
○群山木浦釜山下關神戶大阪行
秀吉丸 一月廿三日 後四時出帆
大有丸 一月廿六日 後四時出帆
神代丸 一月二十日 後四時出帆
蛟龍丸 一月 日 後四時出帆
君が代丸 一月 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部